

新 幹線開業を活かした

諫早 市魅力創出 行動計画

目次

1. 九州新幹線西九州ルートとは P 1

- (1) 整備新幹線について
- (2) 九州新幹線西九州ルートの概要
- (3) 新幹線開業効果
- (4) 九州新幹線鹿児島ルート事例

2. 諫早市の現状分析 P 9

- (1) 諫早市の人口推移及び転入転出者数
- (2) 諫早市の産業
- (3) 諫早市の観光動向

3. 2022年度の開業に向けて P 13

- (1) 諫早市の強み
- (2) 行動計画策定の狙い
- (3) 行動計画「基本目標」及び「基本戦略」

4. 行動計画（アクションプラン） P 19

- (1) 取組体系表（基本戦略－施策－具体的取組）
- (2) 推進体制



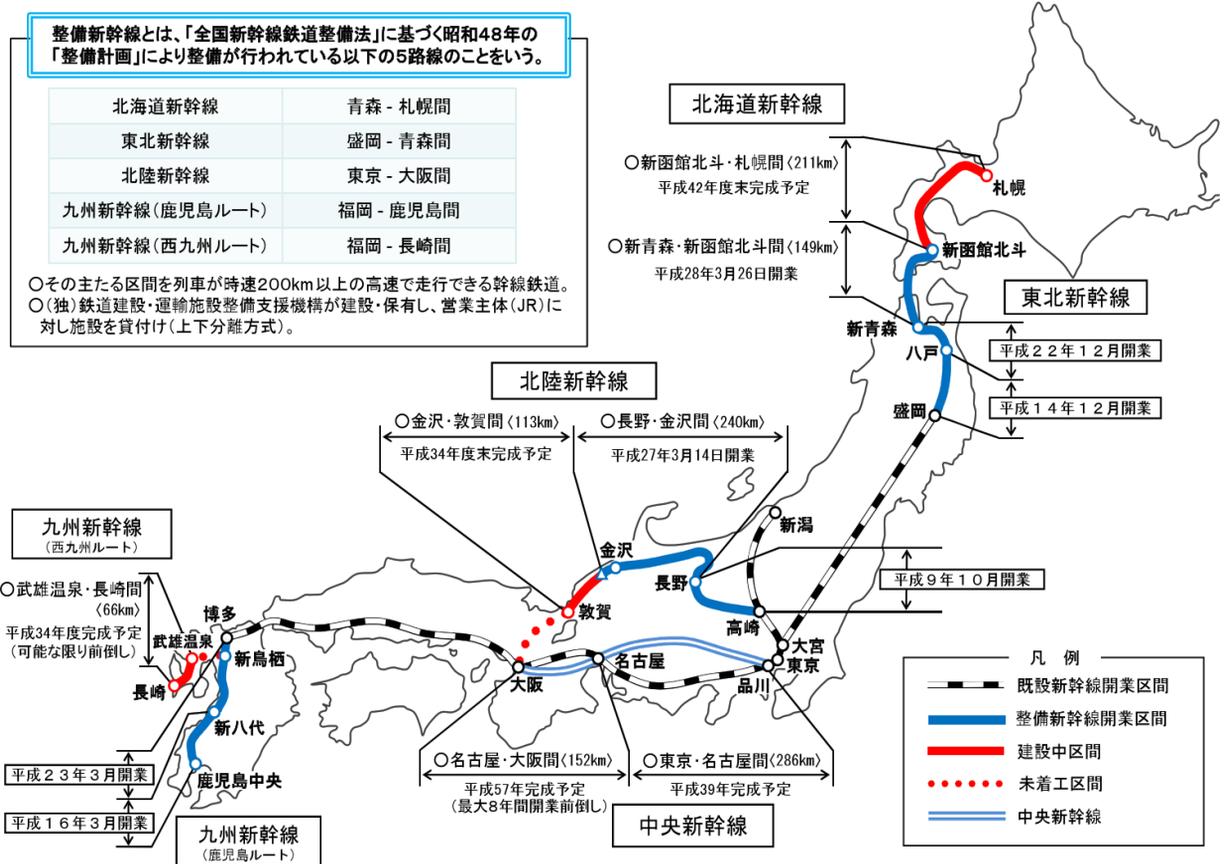
1. 九州新幹線西九州ルートとは

(1) 整備新幹線について

整備新幹線とは「全国新幹線鉄道整備法」に基づき、1973年（昭和48年）の整備計画によって整備が行われている5路線のことを言います。（北海道、東北、北陸、九州新幹線鹿児島ルート・西九州ルート）

- 北海道新幹線 2016年（平成28年）3月に新青森－新函館北斗間が開業
新函館北斗－札幌間が2030年度末（平成42年度末）に完成予定
- 東北新幹線 2010年（平成22年）12月に八戸－新青森間が開通し全線が開業
- 北陸新幹線 2015年（平成27年）3月に金沢までが開業
金沢－敦賀間が2022年度末（平成34年度末）に完成予定
- 九州新幹線鹿児島ルート . . . 2011年（平成23年）3月に博多－新八代間が開通し全線が開業
- 九州新幹線西九州ルート . . . 武雄温泉－長崎間が2022年度（平成34年度）に完成予定

全国の新幹線鉄道網の現状



(出典) 国土交通省「整備新幹線概要図」

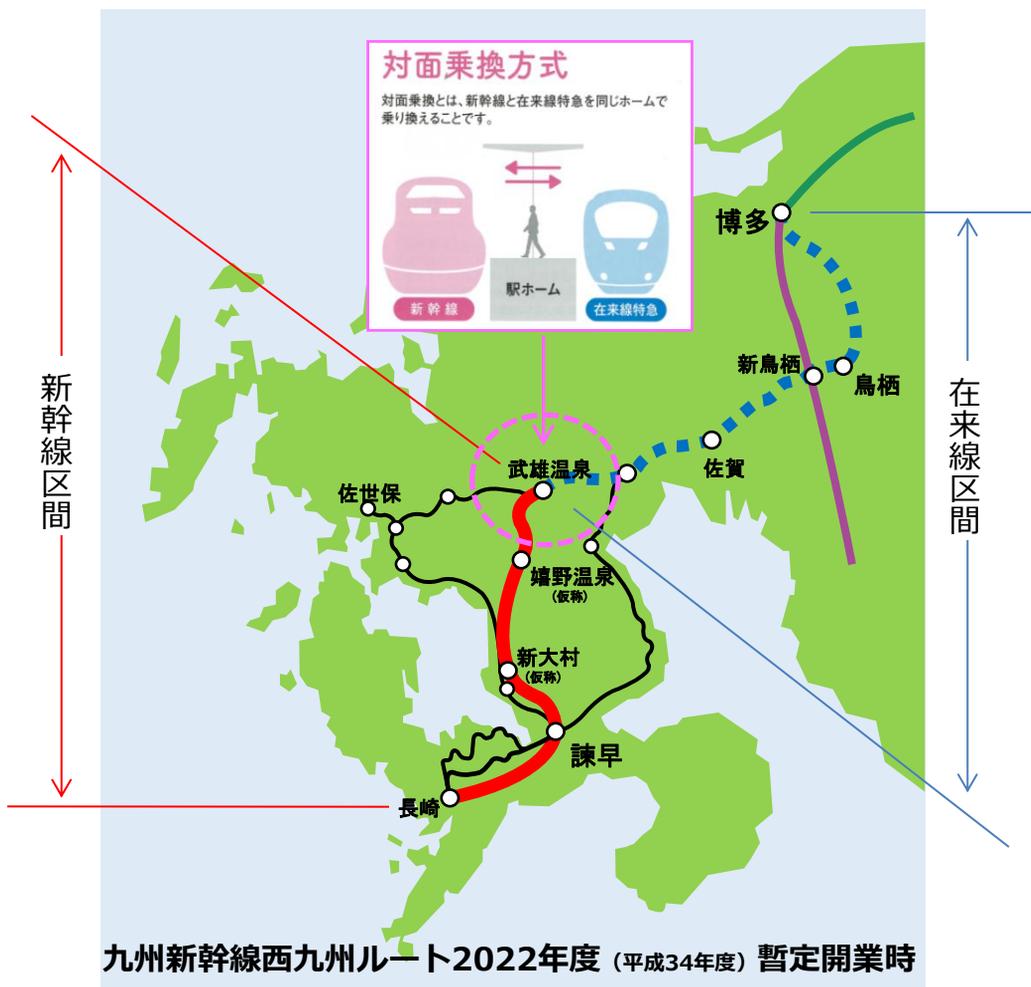
(2) 九州新幹線西九州ルート概要 (2022年度暫定開業時)

九州新幹線西九州ルートは、長崎市(長崎駅)と福岡市(博多駅)を結ぶ143kmの新幹線ルートです。このうち、武雄温泉－長崎間(下図赤線)は新幹線区間として整備され、2022年度(平成34年度)に武雄温泉駅で新幹線と在来線特急を同じホームで乗り換える対面乗換方式により暫定開業する予定となっています。

○暫定開業時の「長崎－博多間」の時間短縮効果(国土交通省試算)

(括弧内は諫早-博多間：諫早市試算)

・ 現行在来特急	約1時間48分	(約1時間31分)
・ 対面乗換方式	約1時間22分	(約1時間12分)
・ 時間短縮効果	約26分	(約20分)



当初の計画では、新幹線区間(レール幅:1,435mm)と在来線区間(レール幅:1,067mm)の両方を走行することができるフリーゲージトレインの導入が予定されていましたが、開発の遅れなどから、2018年(平成30年)7月に、西九州ルートへの導入は断念されました。

新鳥栖－武雄温泉間(上図青線)は新幹線又はミニ新幹線のいずれかの整備方式で今後整備するとして、現在検討が進められています。

長崎県及び沿線5市（長崎市、諫早市、大村市、嬉野市、武雄市）などは、ミニ新幹線と比較して投資効果が高く、速達性、安全性、定時性に優れ、西九州地域全体の発展に最も寄与する全線フル規格による整備を求めています。

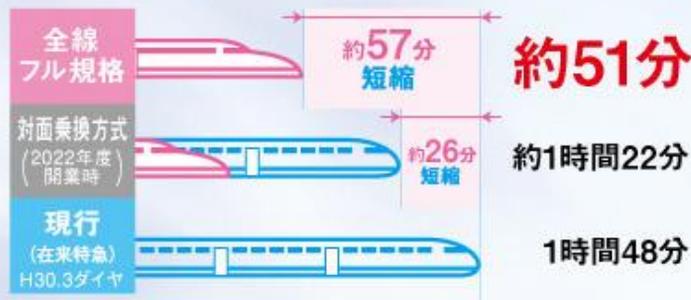
（長崎新幹線・鉄道利用促進協議会資料）

全線フル規格による整備効果

未整備区間である武雄温泉～新鳥栖間をフル規格により整備することで、既存インフラ（長崎～武雄温泉）を最大限活用でき、西九州ルートの整備効果が最も高くなります。

● 時間短縮効果

《長崎～博多の所要時間（最速）》



● 山陽新幹線への直通運行が可能

長崎と関西・中国方面が乗換えなしで結ばれます。

所要時間（最速） 長崎～新大阪→約3時間15分

※国土交通省試算

(3) 新幹線開業効果

新幹線の開業は、全国の事例を見ると「人」「物」「情報」の交流が活発化するなど地域振興に大きく貢献しています。

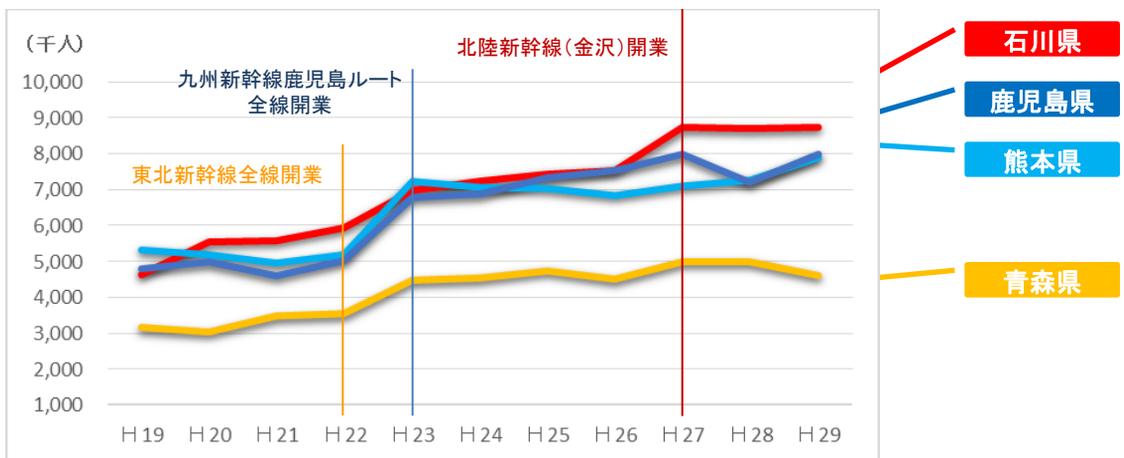
【新幹線開業がもたらす効果】

- 人、物、情報の交流が活性化し、社会、経済、文化・スポーツ活動の活性化をもたらします。
- 観光客の増加により、観光産業の振興、新たな観光開発の促進につながります。
- 地域のイメージが向上し、都市や街の活性化につながります。
- 雇用機会の拡大等により、地方の定住人口の増加をもたらします。
- 地域ポテンシャルを向上させ、新しい産業立地や魅力ある街づくりにつながります。
- 新たな産業立地により、地場産業の活性化や高度化が促進します。
- 商圏が拡大し、産業の活性化や消費生活の高度化につながります。
- 通勤、通学の広域化とともに、一日の行動圏も広がります。

観光客増加につながる新幹線

【観光客数の推移】

(新幹線3路線(東北、北陸、九州)とともに、開業を機に観光客数が増加している)



(出典) 観光庁「宿泊観光統計調査」

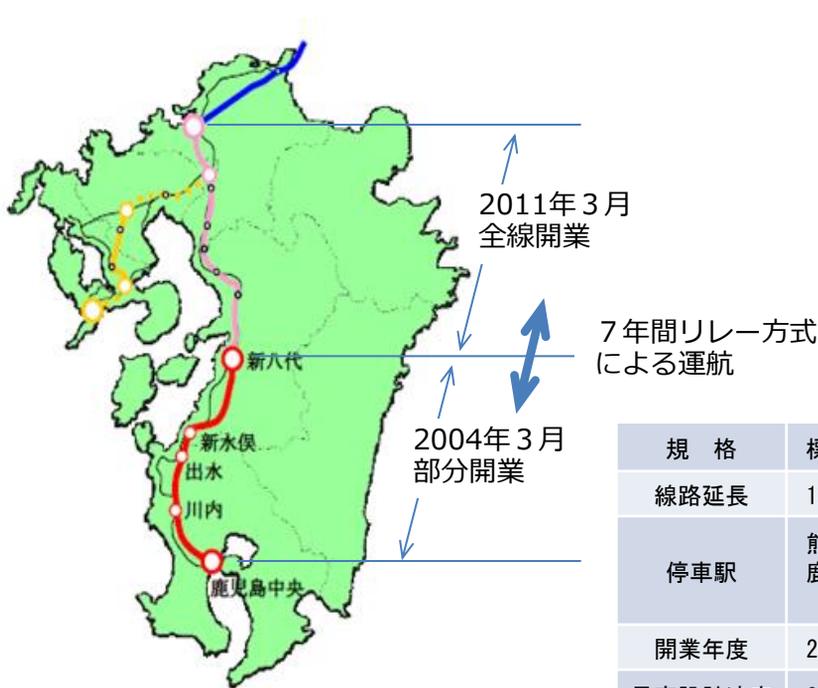
(4) 九州新幹線鹿児島ルート事例

九州新幹線鹿児島ルート（博多－鹿児島中央間：約256km）は、2004年（平成16年）3月に南側の区間（新八代－鹿児島中央間）が部分開業しました。

これは、南側の区間が単線区間が多いことや線形も悪く、新幹線整備による時間短縮効果が大きいと判断され、先行して整備されたものです。

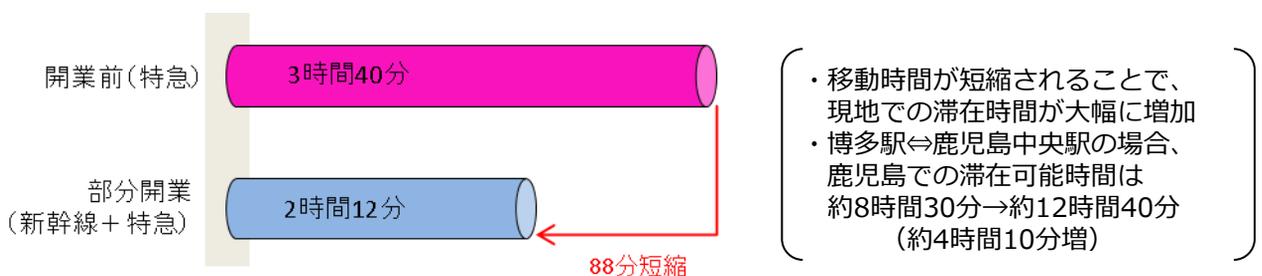
部分開業は、新八代駅で新幹線と在来線特急を同じホームで乗り換える対面乗換方式が採用（西九州ルート暫定開業時と同方式）され、鹿児島ルート全線が開業する2011年（平成23年）までの7年間続きました。

九州新幹線鹿児島ルート



規格	標準軌新線（フル規格）
線路延長	126.1km
停車駅	熊本県：新八代駅（新設）新水俣駅（新設） 鹿児島県：出水駅（併設）川内駅（併設） 鹿児島中央駅（併設）
開業年度	2004年3月
最高設計速度	260km/h

鹿児島ルートリレー方式時の時間短縮効果



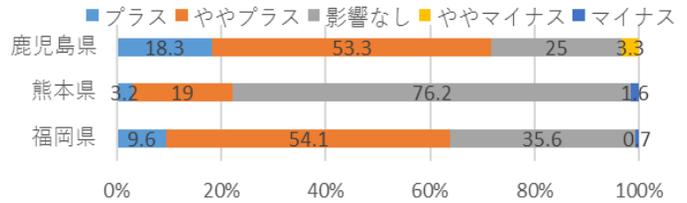
博多－鹿児島中央間の所要時間の変化

企業活動や観光への影響

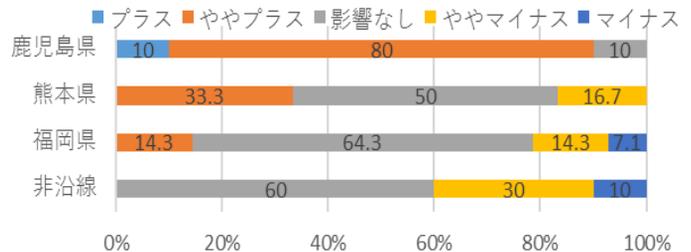
①九州経済調査協会がJR鹿児島本線沿線県に立地する企業を対象に実施したアンケートによると、鹿児島県では7割以上の企業がプラス・ややプラスの効果があったと回答しています。

②また、同じアンケートによると、鹿児島県の観光施設では約9割がプラスの効果があったと回答しています。主な意見として「観光地としてのイメージアップが図られた」、「遠方からの集客がしやすくなった」、「観光ルートが広域化した」などがあげられています。

①企業活動への影響



②観光への影響

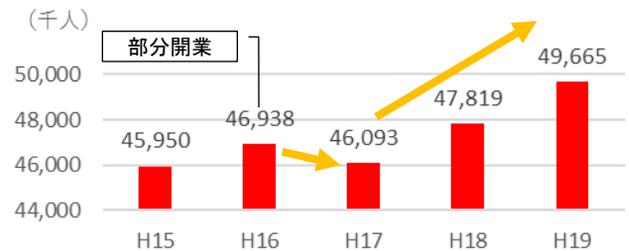


(出典) 九州経済調査協会「九州新幹線部分開業に関するアンケート」

観光客数の推移

鹿児島県の観光客数は、部分開業1年後の2005年(平成17年)に減少していますが、これは新幹線開業特需の反動とともに愛知万博開催による団体旅行者の流出によるものと分析されており、それ以降は増加傾向が顕著に現れています。

観光客数の推移(鹿児島県)

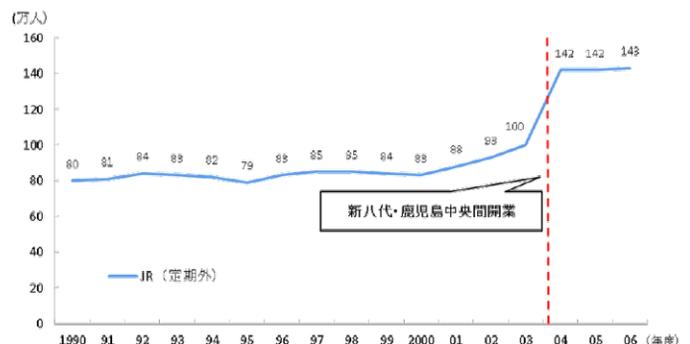


(出典) 「鹿児島県観光統計」

鉄道利用者数の推移

福岡-鹿児島間の鉄道利用実績の推移は、部分開業前の2001年(平成13年)頃から増加傾向となり、2004年(平成16年)3月の部分開業を境に大きく増加しています。

鉄道利用者数推移(福岡-鹿児島間)



(出典) 国土交通省「旅客地域流動調査」

沿線自治体等の取組例

鹿児島ルートの部分開業（新八代－鹿児島中央間）時には、沿線市等で様々な取組が行われました。

九州新幹線西九州ルートの開業においても、沿線自治体、関係団体、住民が一体となってその効果を最大限に引き出すための取組を行うとともに、開業後も継続することが新幹線開業効果を最大限に発揮させるためには不可欠であると考えられます。

【鹿児島県 出水市】

- 観光牛車の運行
 - ・新幹線開業を機に、NPO法人いずみ観光牛車会が観光牛車の運行を開始
 - ・新幹線の「速くて便利」というイメージとは逆の、田舎の「ゆっくり・ゆったり」とした雰囲気を利用したユニークな取組で、運行開始から8か月間で、約2,200人が利用し、他県からも多くの観光客が訪れている。



画像：出水市HPより抜粋

【鹿児島県 霧島市】（新幹線停車駅無し）

- 交通アクセスの充実
 - ・特急「はやとの風」に接続する霧島温泉地行きバスや、霧島連山周遊バスなどの新設
- 新幹線開業を契機とした取組
 - ・霧島神宮駅前へ足湯の設置、フリーマーケットの開催
 - ・地元主婦による駅弁「かれい川」の開発
- その他の取組
 - ・隼人町（現霧島市）が築100年以上の無人駅「嘉例川駅舎」をJRから購入し改修
 - ・JRが特急「はやとの風」を停車させ、無人駅に多くの観光客が訪れている。



画像：鹿児島県観光サイト
かごしまの旅より抜粋

【鹿児島県】

- かごしまよかところ100選の発行
 - ・テーマ毎に優れた観光資源100を選定し、県内外の観光客誘致を目指し広く情報発信を行っている。
 - ・テーマ
「海道の旅」「浪漫の旅」「四季の旅」
「躍動の旅」「食彩の旅」



画像：全国知事会HPより抜粋



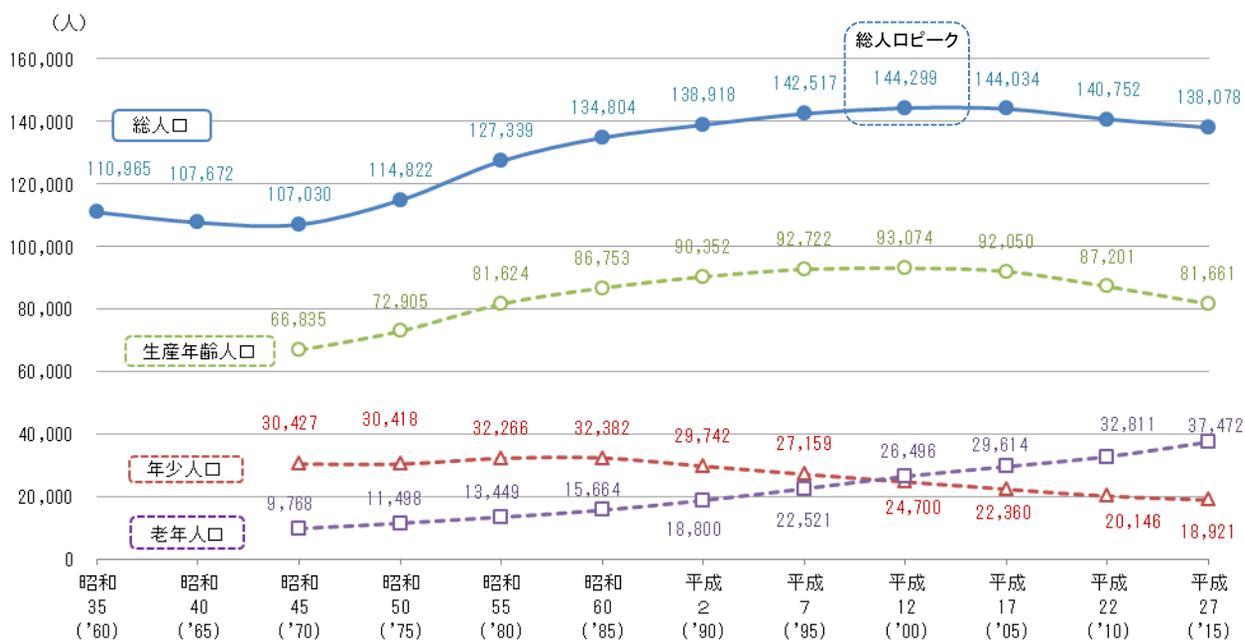
2. 諫早市の現状分析

(1) 諫早市の人口推移及び転入転出者数

諫早市の人口推移と将来推計人口

全国的な少子高齢化・人口減少の中、諫早市においても人口減少と少子高齢化は進行しており、国勢調査の結果では1975年（昭和50年）から増加を続けてきた人口は、2000年（平成12年）の144,299人をピークに減少に転じ、以後その傾向は続き、直近の2015年（平成27年）の国勢調査では138,078人となりました。

諫早市の人口推移（総人口及び年代別人口）



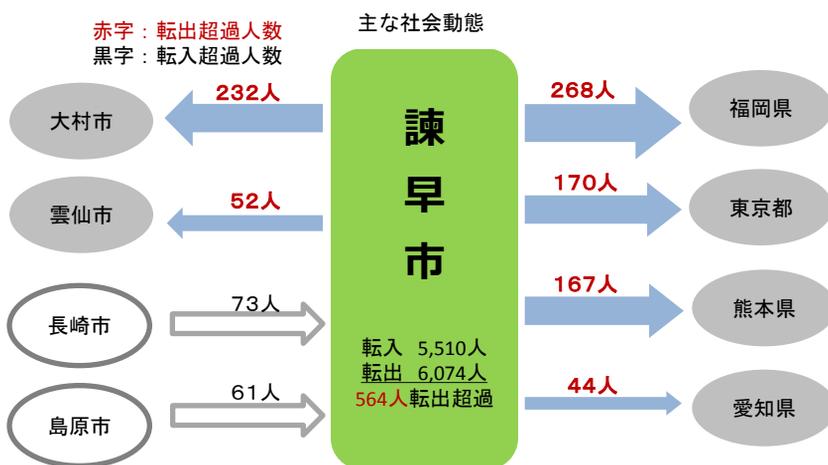
(年少人口：14歳以下、生産年齢人口：15～64歳、老年人口：65歳以上)

(出典：総務省統計局「国勢調査」)

諫早市の転入・転出

2017年（平成29年）長崎県異動人口調査によると、諫早市の（※）社会動態は564人の転出超過となっています。

これを県別に見ると、福岡県への転出超過（268人）が最も多く、県内市町村別にみると、大村市への転出超過（232人）が最も多くなっています。



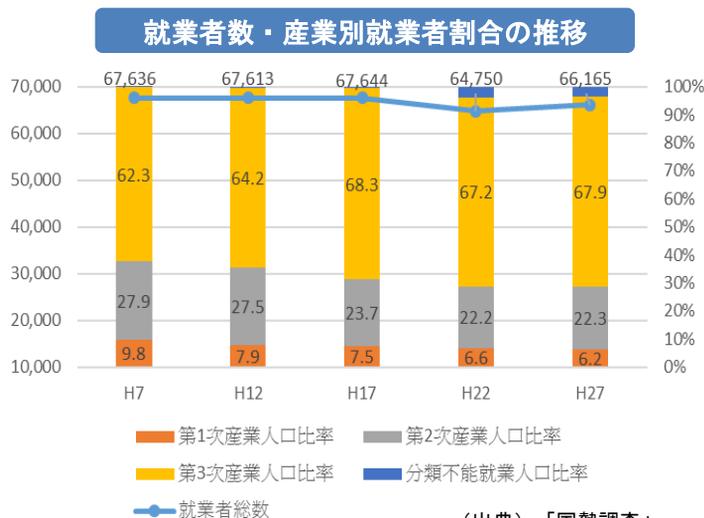
（※）【社会動態】
一定期間における転入・転出に伴う人口の動き

(出典) 平成29年「長崎県異動人口調査」

(2) 諫早市の産業

就業構造（第1・2・3次）

諫早市の就業者数は2015年（平成27年）の国勢調査で66,165人であり、2010年（平成22年）の前回調査から約1,400人増加していますが、10年前（平成17年）と比較すると微減となっています。

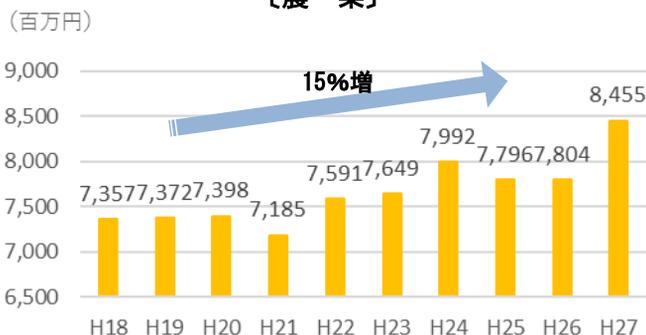


各産業の生産額

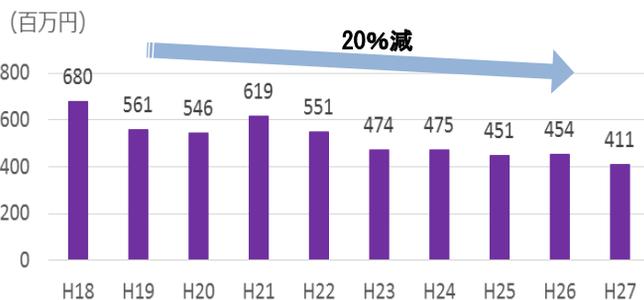
各産業の生産額の経年変化では産業別に差が見られ、農業が15%（H18-H27）、製造業が28%増加（H18-H27）しているのに対して、水産業は20%（H18-H27）、商業では26%減少（H14-H26）しています。

各産業の総生産額の推移

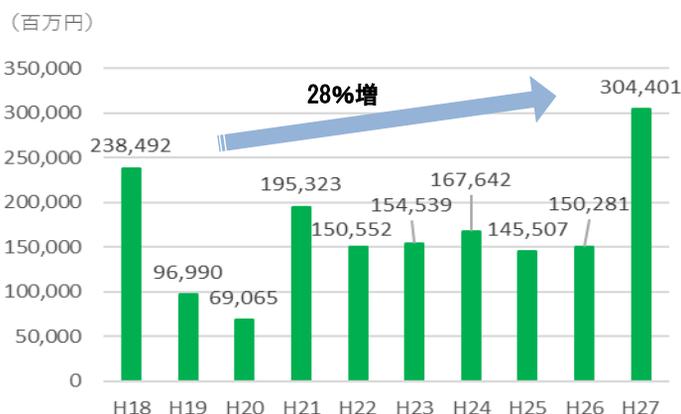
〔農業〕



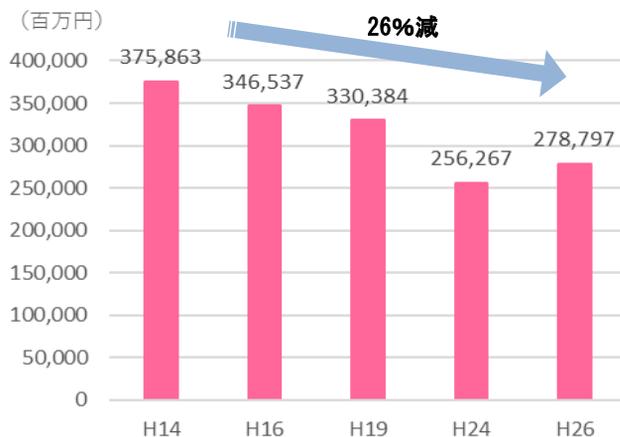
〔水産業〕



〔製造業〕



〔商業（商品販売額）〕



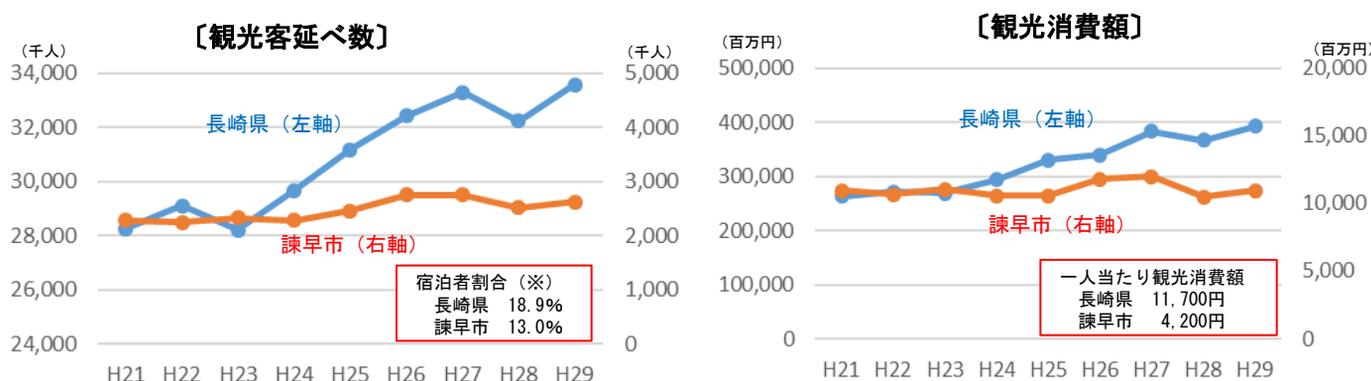
(出典) 農業、製造業は「長崎県市町民経済計算」
水産業は「漁港港勢調査」、商業は「商業統計調査」

(3) 諫早市の観光動向

観光客延べ数・観光消費額

2017年（平成29年）における諫早市の観光客延べ数は261万人（観光消費額：10,931百万円）となっています。長崎県全体では観光客延べ数、観光消費額とも順調な増加が見られますが、諫早市はほぼ横ばいの推移に留まっています。

また、諫早市の一人当たりの観光消費額は約4,200円で、長崎県全体の約11,700円の半分以上となっています。これは、大きな消費が期待できる宿泊者数が少ないことが、原因の一つと考えられます。

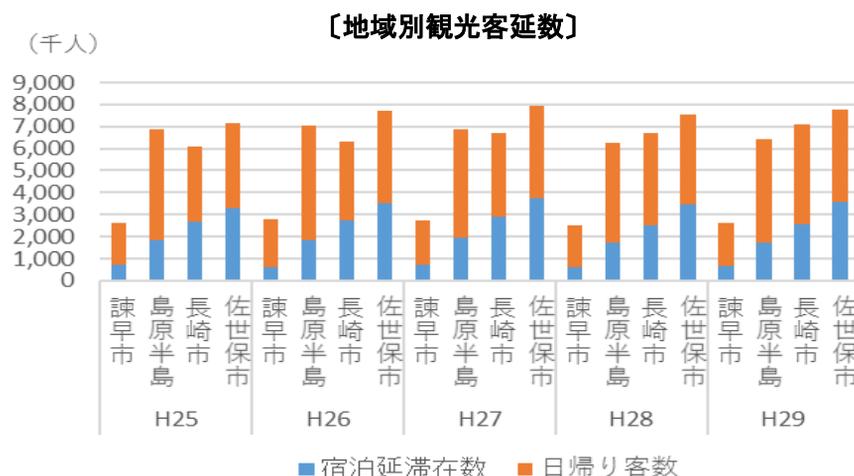


※宿泊者割合=宿泊者実数 / (日帰り観光客数+宿泊者実数)
(出典) 「長崎県観光統計」

県内各市の観光客延べ数

諫早市の観光客延べ数を県内の他地域と比較すると、大きな差があり、宿泊・日帰りの区分では、特に宿泊数が低いことがわかります。

近隣観光地から諫早市への周遊・宿泊を促すために、長崎・佐世保・島原半島などと連携した広域的な周遊を促す仕組みの構築が求められています。



(出典) 「長崎県観光統計」



3. 2022年度の開業に向けて

(1) 諫早市の強み

諫早市の概要

諫早市は長崎県南部の中央に位置し、東は有明海、西は大村湾、南は橘湾と三方が海に面し、北は屏風のようにそびえる多良岳の秀峰を仰ぎ、4本の国道とJ R、島原鉄道が交わる交通の要衝です。

地の利を生かして、市内には工業団地が複数箇所整備されており、平成28年の工業製品出荷額は長崎市について県内第2位を誇るなど、産業の集積も図られています。

市の中心部を流れる本明川は市街地を流れて有明海に注ぎ、下流の諫早平野は県下最大の穀倉地帯を形成しています。また、肥沃な丘陵地帯は野菜やみかんの特産地となっています。

気候は一年を通して温暖で、豊かな自然環境と良好な交通アクセスなどバランスの取れた都市環境にあり、産業用地や住宅地としても優れたポテンシャルを有しています。



市の面積

- 341.79km²

人口と世帯数

- 総人口 138,136人
- 人口(男) 65,030人
- 人口(女) 73,106人
- 世帯数 51,842世帯

九州・沖縄、県内自治体における位置

- 面積 九州・沖縄 38位/274市町村
長崎県内 5位/21市町
- 人口 九州・沖縄 14位/274市町村
長崎県内 3位/21市町
- 諫早駅乗降客数 (H28) 447万人 県内第2位

(出典) 平成27年「国勢調査」、「長崎県統計年鑑」

【諫早市の強み】

①交通の結節点

(4本の国道、J R、島原鉄道、長崎空港・長崎港に近い)

②1時間圏内に有名観光資源が複数ある

(長崎市、島原半島、ハウステンボス など)

③豊富な地域資源に恵まれている

諫早市の特徴的地域資源

1 歴史・文化・自然

諫早公園は「日本の歴史公園百選」に選定された上山公園の中心的公園で、春に咲き誇るつつじは壮観に公園を彩ります。

公園内には、樹齢600年を越すクスノキの大木や「日本で一番美しい石橋」とも言われる国指定重要文化財の眼鏡橋などがあります。

また、いにしえより信仰の山として崇められてきた多良岳は活発な火山活動によって形成されたもので、火山としての歴史は雲仙や阿蘇よりも古く、山頂には太良嶽神社の上宮が鎮座、標高850m地点には高野山真言宗の寺院「金泉寺」の堂宇が静かにたたずみ、まるで全体が聖域であるかのような荘厳な空気がそこにはあります。



干拓資源

諫早市の特徴的資源である「干拓地」は、600年余り昔から先人たちの不屈の精神と不断の努力により創り上げられた貴重な財産です。

また「国営諫早湾干拓事業」により創出された新干拓資源（農地、潮受堤防、調整池、自然干陸地など）も本市の特徴的財産です。

干拓地には、そこで営まれてきた後世に伝えるべき歴史と文化があります。また新干拓地では先進的な農業が営まれ、周辺には国営事業で創出された全長8 kmの堤防道路や、本明川下流域の広大な静水面が広がっており、ボート競技による活用など新たな利活用の可能性にあふれています。



2 スポーツ資源

諫早市は、4本の国道やJRと島原鉄道が交わる交通結節点で、市街地から空港へ30分程度と非常に恵まれた交通環境にあります。

市内には、サッカーJ1の試合にも対応できるスタジアムを有する長崎県立総合運動公園を始め、体操の内村航平選手の偉業を称え「内村記念アリーナ」と命名された諫早市中央体育館や、整備中の（仮称）久山港スポーツ施設など室内外ともに優れたスポーツ施設が数多く整備されています。

大規模な大会の開催のみならず、スポーツ合宿地としての活用にも非常に適した地であると言えます。



3 食

諫早市は古くから宿場町として栄えてきた歴史があり、市内には老舗のうなぎ料理店が複数あります。諫早のうなぎの蒲焼は「焼き」のあと、二重底になった京都の「楽焼（らくやき）」とよばれる独特の器で提供されるもので、最後まで温かく食して欲しいというおもてなしの心からきていると言われています。

また、米どころとして栄えた諫早市の銘菓「おこし」は、家を「おこす」、名を「おこす」という縁起の良さから、多くの人に親しまれてきました。

自然に恵まれた諫早市は、数多くの海の幸・山の幸に恵まれた「食のまち」であると言えます。



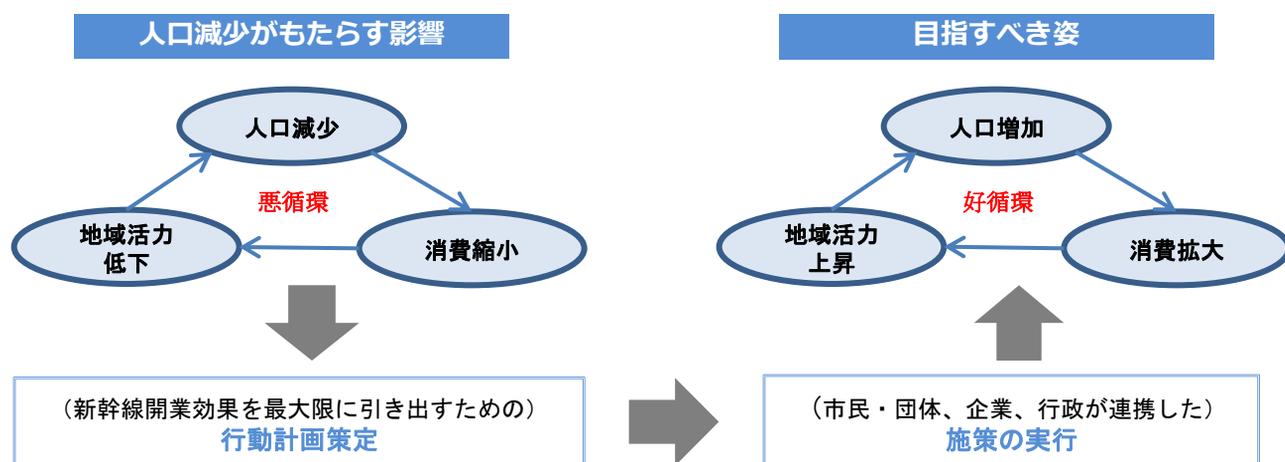
(2) 行動計画策定の狙い

行動計画策定の趣旨

我が国の人口は、2008年（平成20年）以降減少に転じ少子高齢化も急速に進んでいます。これは本市においても例外ではありません。

九州新幹線西九州ルートの新幹線開業は、移動時間の短縮効果等によって「人」「物」「情報」などの交流が活発化し、地域振興につながることを期待されるため、市内においては、新幹線開業に合わせ諫早駅周辺整備事業や栄町東西街区再開発事業など様々なまちづくり事業が現在進められています。

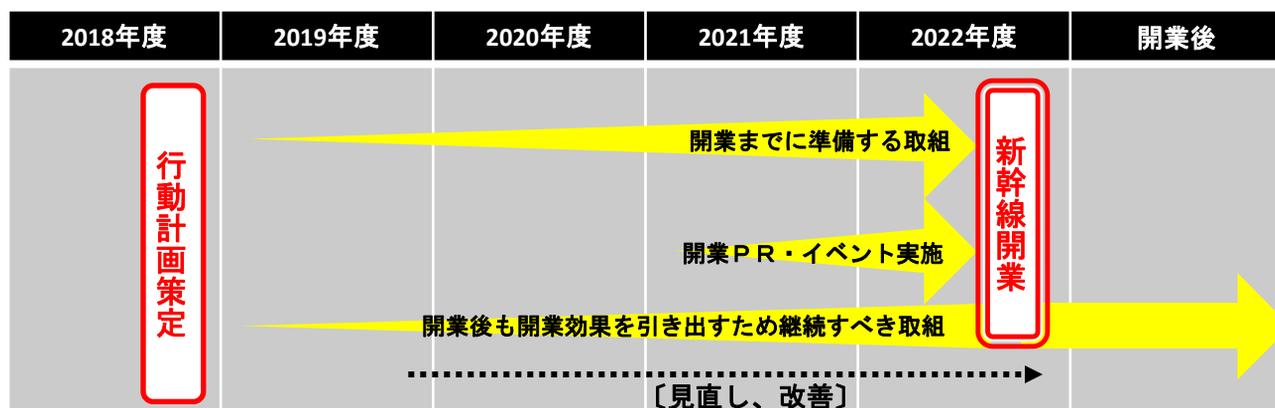
新幹線開業効果を最大限に引き出すため、交通の要衝としての強みをさらに充実・強化させ、諫早市の地域資源の活用と情報発信力の向上を図るための施策を、市民・企業及び行政が連携して進めることにより地域が活性化することを目的として「新幹線開業を活かした諫早市魅力創出行動計画」を策定するものです。



行動計画の期間

行動計画を大別すると、①2022年度（平成34年度）の新幹線開業までに行うべきこと（準備する取組）、②開業PR・開業イベント、③開業後も効果を持続させるための取組、の3つに大別されます。スケジュールは下表のとおりとし、必要に応じて計画の見直し・改善を行い、開業効果を最大限引き出すことを狙います。

【計画期間中における取組のイメージ】



(3) 行動計画「基本目標」及び「基本戦略」

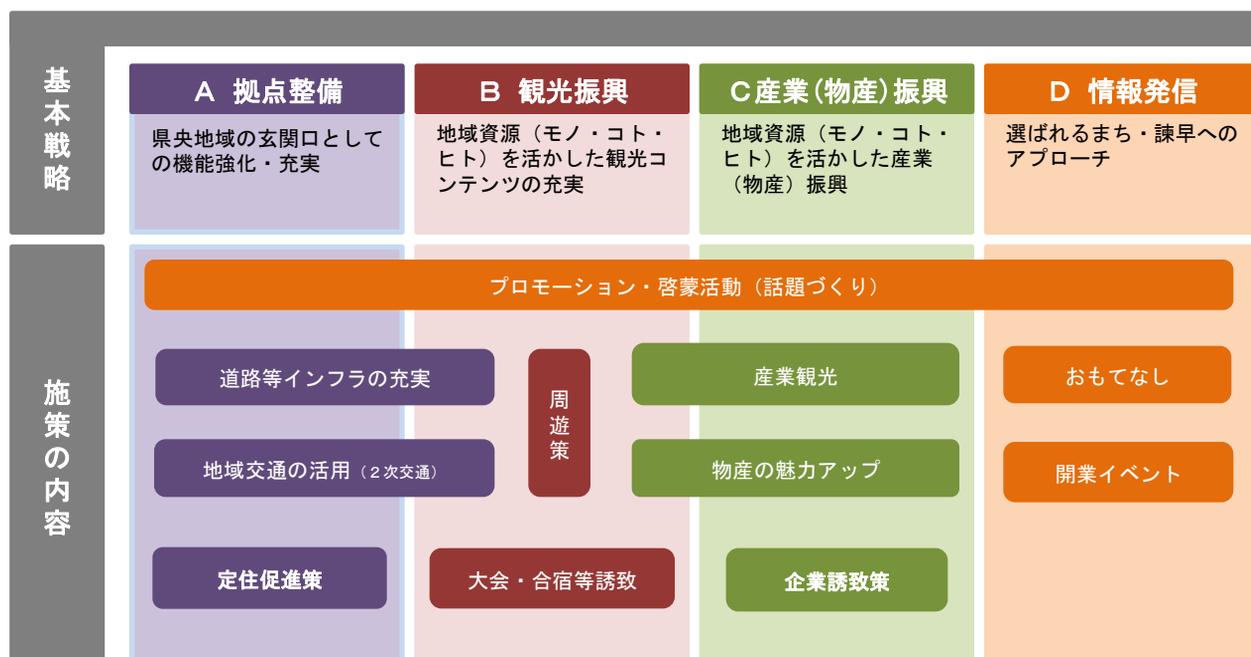
基本目標

「交通の要衝としての強み」をさらに充実・強化させ、諫早市の地域資源の活用と情報発信力の向上を図るための施策を、市民・企業及び行政が連携して進めていくことで「選ばれるまち諫早」を目指す。

基本戦略

- A 交通の要衝という強みをさらに強化するための・「拠点整備」
- B 諫早市の地域資源を活かした・・・「観光振興」
- C 諫早市の地域資源を活かした・・・「産業（物産）振興」
- D 多くの人に知ってもらふ（来てもらう）ための・「情報発信」

の4つを柱として、各種取組を進め「基本目標」の実現を目指します





4. 行動計画（アクションプラン）

（1）取組体系表（基本戦略－施策－具体的取組）

行動計画の4つの基本戦略に基づいて、18の施策、45の具体的取組を取りまとめました。

基本戦略A 【拠点整備】

－ 県央地域の玄関口としての機能強化・充実－

A	施策	具体的取組
A-1	新幹線開業に合わせた諫早駅周辺整備 ～県央地域の拠点にふさわしい駅空間の整備～	① 新幹線駅舎整備 ② 諫早駅周辺整備
A-2	諫早駅から周辺観光地等へのアクセス向上 ～諫早駅と周辺地域のネットワークづくり～	① バス待合所と交通広場の整備 ② 地域公共交通の適切な接続 ③ 互換性のある交通系ICカード導入 ④ 周辺道路交通網の整備 ⑤ 駐車場、駐輪場の整備
A-3	諫早駅周辺の商業施設の充実 ～商い空間の整備～	① 再開発ビル内への商業床の整備 ② 民間投資による諫早駅周辺の活性化
A-4	諫早駅の「おもてなし空間」の整備	① 自由通路観光案内PRコーナーの充実 ② 交流広場の整備（再開発ビルI棟2工区） ③ 周辺飲食店情報等の適切な提供
A-5	諫早駅周辺回遊促進のためのハード整備 ～自然を活かした空間づくり～	① 駅前公園整備による新たな親水空間の提供 ② 本明川散策路整備による回遊促進
A-6	交通利便性が高い諫早駅周辺への定住促進 ～居住空間の提供～	① 再開発ビルII棟（マンション棟）の整備 ② 民間投資の誘発

基本戦略B 【観光振興】

－ 地域資源（モノ・コト・ヒト）を活かした観光コンテンツの充実－

B	施策	具体的取組
B-1	諫早駅周辺の「観光コンテンツ」の磨き上げ ～短時間観光需要を消費につなげる～	① 諫早駅周辺散策旅行商品の開発 ② レンタサイクル
B-2	多良山系、本明川、干拓地を活かした 体験型旅行商品の創出 ～諫早の自然に感動する旅の創出～	① 諫早の自然を体感する体験型商品の開発 ② 本明川に親しむ体験型商品の開発 ③ 歴史の道（多良海道等）を活かした観光振興
B-3	スポーツ資源を活かした交流人口拡大 ～スポーツのまち諫早～	① スポーツ大会・合宿誘致 ② 本明川水域の利活用によるスポーツ振興 ③ 地形を活かしたサイクルツーリズム
B-4	外国人旅行者の宿泊&市内周遊促進 ～西九州観光の拠点としての地位確立～	① 外国人旅行者向け体験プランの創設 ② 外国人旅行者の県内観光の拠点化 ③ 留学生による母国への情報発信
B-5	周辺観光地との連携 ～島原半島、新幹線沿線市～	① 島原半島との連携 ② 新幹線沿線市との連携

基本戦略C 【産業（物産）振興】

－地域資源（モノ・コト・ヒト）を活かした産業（物産）振興－

C	施策	具体的取組
C-1	既存食コンテンツの磨き上げ ～今ある食に新たな価値を上乘せする～	① 諫早の銘菓や伝統料理の魅力向上
C-2	新たな食コンテンツの創出 ～新しい商品を生み出す～	① フルーツバス停とコラボした新スイーツの開発 ② 諫早の特色を活かした新たな土産品の開発
C-3	既存産業を活かしたコト消費の創出 ～体験のまち「いさはや」を目指す～	① 酒蔵ツーリズム ② 季節に合わせた農業（収穫）体験 ③ オイスターツーリズム
C-4	漁業資源を活かしたコト消費の創出 ～三海（橘湾、大村湾、諫早湾）の幸～	① 三海体験ツアー ② 三海の情報発信
C-5	企業活動の活性化 ～チャンスを活かしたビジネスの活性化～	① ビジネスプランコンテストの実施 ② 企業間マッチング商談会の開催

基本戦略D 【情報発信（話題づくり）】

－選ばれるまち・諫早へのアプローチ－

D	施策	具体的取組
D-1	外への情報発信（PR体制の構築） ～多くの人に知ってもらおう～	① PR用キャッチコピー・ロゴマーク作成、活用 ② 人材ネットワークを活かした開業PR ③ 多様な媒体を活用した県外PR
D-2	開業イベントと諫早駅内の賑わい創出 ～盛り上がる・駅で楽しむ～	① 新幹線開業イベント（県下Ver.） ② 新幹線開業イベント（諫早市Ver.） ③ 再開発ビル内交流広場のイベント活用

施策	新幹線開業に合わせた諫早駅周辺整備
A-1	～県央地域の拠点にふさわしい駅空間の整備～

長崎県内で2番目の乗降客数(2016年(平成28年):447万人)を誇る諫早駅の拠点機能を強化するため、鉄道・運輸機構が整備する新幹線諫早駅と合わせて、諫早駅周辺整備を行います。

具体的取組	内容			実施主体	連携団体
①新幹線駅舎整備	<ul style="list-style-type: none"> 基本コンセプト 「水と緑が刻まれた人にやさしい県央の玄関口」 新幹線諫早駅本屋(鉄骨2階建)他 			(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構	<ul style="list-style-type: none"> 諫早市 JR九州
②諫早駅周辺整備	<ul style="list-style-type: none"> 諫早駅自由通路 供用中 再開発ビルI棟1工区(自由通路、島鉄待合所) 供用中 再開発ビルI棟2工区(交流広場、バス待合所、店舗、事務所、ホテル) 再開発ビルII棟(マンション、店舗、交番、駐車場) 駅東交通広場(一般、公共)及び駅西交通広場 			<ul style="list-style-type: none"> 諫早市 特定建築者 	<ul style="list-style-type: none"> JR九州
スケジュール	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 開業	開業後
①新幹線駅舎整備	建築工事			供用	
②諫早駅周辺整備	再開発ビル建築工事		供用(I棟内のバス待合所を除く)		
		交通広場整備工事	供用(バス待合所・交通広場)		

- 期待される効果**
- 滞在時間をより長く提供する
 - 広域的な交通拠点性を高める
 - 地域の魅力を高める



新幹線諫早駅



諫早駅周辺整備イメージパース

【I棟2工区】

- 交流広場(1F)
- バス待合(1F)
- 商業・業務床(1~2F)
- 事務所床(3F)
- ホテル床102室(4F以上)

【II-1棟】

- 商業・業務床(1F)、住居用床105戸(2F以上)

- 交番、商業床、業務床(1F)
- 駐車場約160台(2F以上)



施策	諫早駅から周辺観光地等へのアクセス向上 ～諫早駅と周辺地域のネットワークづくり～
A-2	
<p>路線バスや在来線鉄道の2次交通の接続機能を高めるとともに、周辺道路を整備し駅から各方面へのアクセス向上につなげることで、新幹線利用者の快適な乗り継ぎと移動を実現します。</p>	

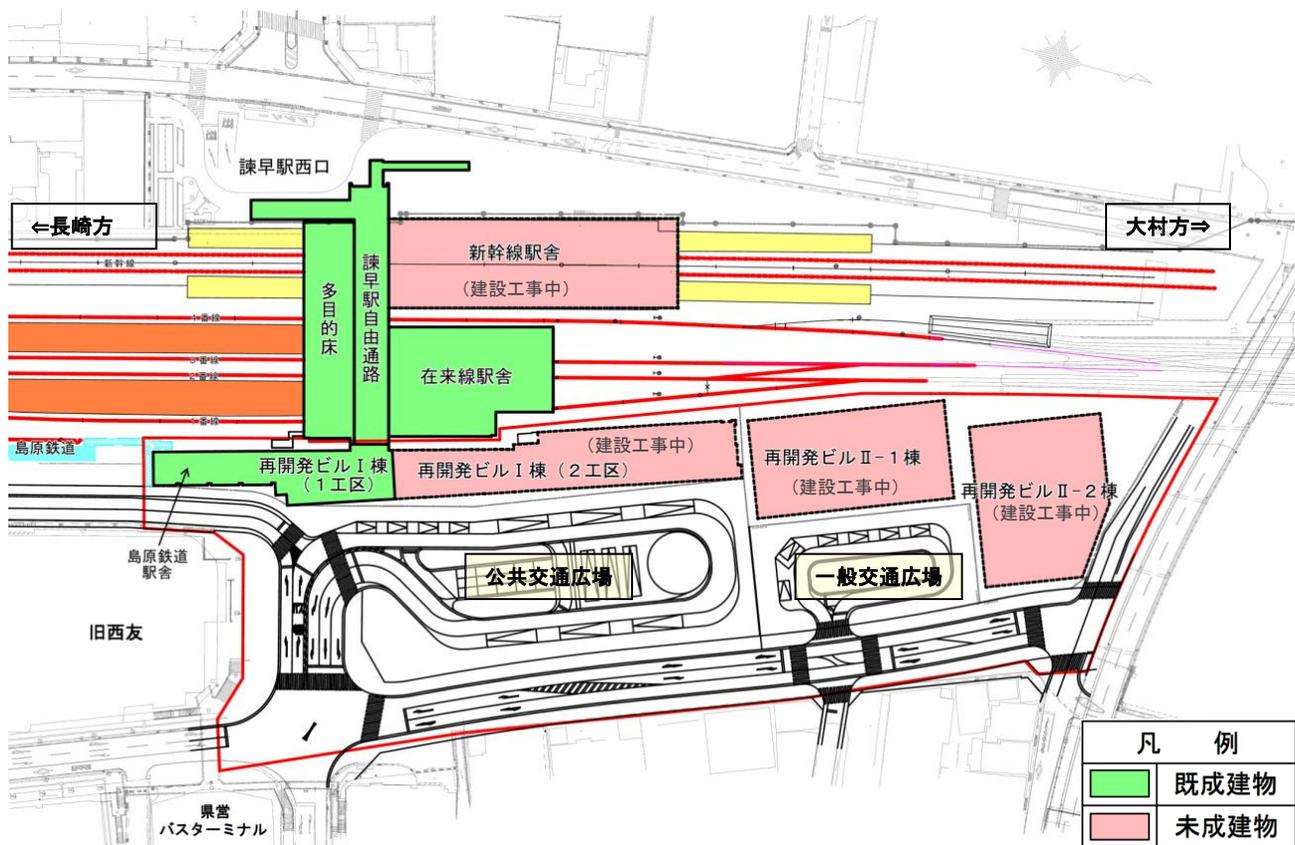
具体的取組	内容	実施主体	連携団体
①バス待合所と交通広場の整備	・ 駅東側に隣接したバス待合所及び路線バスやタクシーが乗り入れられる交通広場を整備し、諫早市内のほか長崎方面、島原方面、空港方面などへの快適な乗り継ぎ・移動を実現する。	・ 諫早市 ・ 島原鉄道 ・ 県営バス ・ ｸﾞﾗﾝﾌﾟ-事業者	・ J R九州
②地域公共交通の適切な接続	・ 2次交通としてのJ R在来線、島原鉄道、路線バスのダイヤ調整を実施する。	・ J R九州 ・ 島原鉄道 ・ 県営バス	・ ｸﾞﾗﾝﾌﾟ-事業者 ・ ｲﾝｸﾞ-事業者
③互換性のある交通系ICカード導入	・ 全国の交通系ICカードと互換性がない現在の「長崎スマートカード」に代わるシステムを導入し、県外来訪者の円滑な2次交通利用を進める。	・ 交通事業者	・ 諫早市 ・ 長崎県 ・ 雲仙市
④周辺道路交通網の整備	・ 諫早駅周辺道路の整備 (市道諫早停車場線・市道上宇戸橋公園線・市道永昌東栄田線等)	・ 諫早市	・ 国土交通省 ・ 長崎県
⑤駐車場、駐輪場の整備	・ 駅周辺の需要動向を勘案し、適切な規模の駐車場、駐輪場を整備する。	・ 諫早市 ・ 特定建築者	

スケジュール	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 開業	開業後
①バス待合所と交通広場の整備	バス待合所建築工事 (再開発ビル1棟2工区内)	交通広場整備工事		供用 (バス待合所・交通広場)	
②地域公共交通の適切な接続			タイヤの見直し検討・編成	運行	
③互換性のある交通系ICカード導入	システム開発	導入 (場合によっては2019年度～)			
④周辺道路交通網の整備	整備工事			供用	
⑤駐車場、駐輪場の整備			整備工事	供用	

期待される効果
<ul style="list-style-type: none"> ■ 交流人口の拡大 ■ 広域的な交通拠点性を高める ■ 利用者の利便性向上

取組の課題・留意点等
<ul style="list-style-type: none"> ○バス待合所の建築 (再開発ビル1棟2工区内) と交通広場の完成時期が異なるため、待合所完成後の既存バスターミナルからの機能移転には時間を要する。 ○2次交通の適切なダイヤ編成のためには、新幹線ダイヤの速やかな公表が必要である。 ○「長崎スマートカード」に代わるICカードは、2種類のシステムが検討されているが、全国の交通系ICカードとの互換性確保が必須

諫早駅周辺整備事業 配置図



(イメージ) 再開発ビル I 棟 1 工区を南東方向より望む



(イメージ) 再開発ビル I 棟 2 工区を北東方向より望む



(イメージ) 再開発ビル I 棟の 2 階から北東方向を望む



(イメージ) 再開発ビル I 棟の 1 階エントランスから北方向を望む

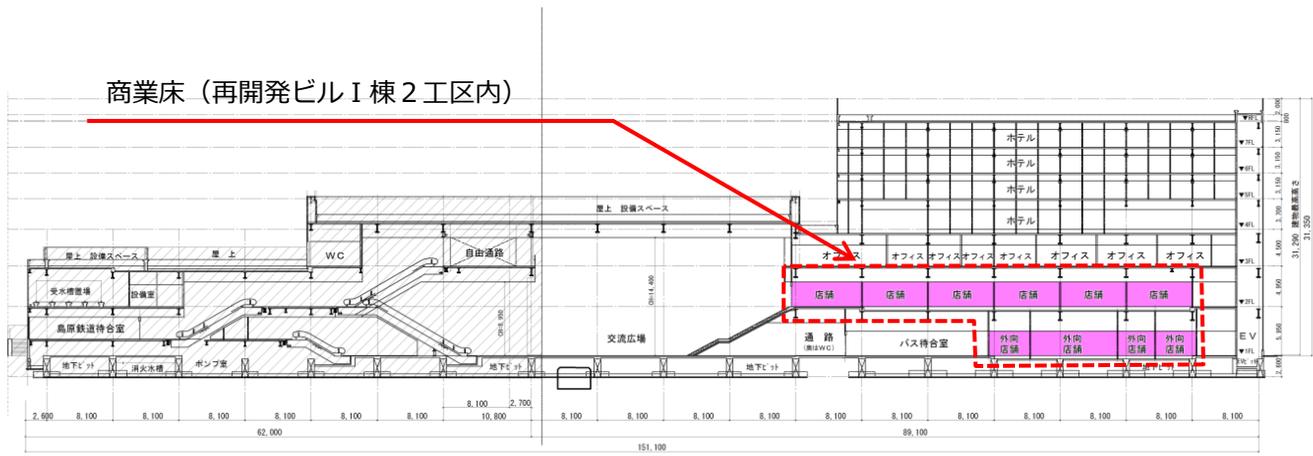
施策	諫早駅周辺の商業施設の充実
A-3	～高い空間の整備～

県央地域の玄関口としての機能を高めるため、再開発ビルに商業床（店舗、事務所、ホテル）を整備するとともに、駅周辺の空き店舗などへの民間投資を誘発する取組を研究します。

具体的取組	内容	実施主体	連携団体		
①再開発ビル内への商業床の整備	<ul style="list-style-type: none"> 再開発ビルⅠ棟2工区内への商業床の整備（権利床及び保留床） 再開発ビルⅡ棟内への商業床の整備（権利床） 	<ul style="list-style-type: none"> 諫早市 権利者 特定建築者 			
②民間投資による諫早駅周辺の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 民間投資による諫早駅周辺の活性化を目指す取組を行う。 <p>-取組例-</p> <ul style="list-style-type: none"> 専門家による創業支援等の体制整備（アドバイザー派遣事業等の活用）、融資制度・補助制度の活用、情報発信 起業を促すため、民間空き店舗を週単位・月単位など安価で貸出し、カフェ・雑貨店などを試験的に実施する起業家を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 金融機関 商工団体 	<ul style="list-style-type: none"> 諫早市 長崎県 		
スケジュール	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 開業	開業後
①再開発ビル内への商業床の整備	<div style="background-color: black; color: white; padding: 5px; text-align: center;">再開発ビル建築工事</div> <div style="background-color: black; color: white; padding: 5px; text-align: center;">事業者公募・選定・内装工事</div>		<div style="background-color: black; color: white; padding: 5px; text-align: center;">供用開始</div>		
②民間投資による諫早駅周辺の活性化	<div style="background-color: black; color: white; padding: 5px; text-align: center;">事例研究・情報発信</div>		<div style="background-color: black; color: white; padding: 5px; text-align: center;">民間投資の誘発</div>		

期待される効果
<ul style="list-style-type: none"> ■ 交流人口の拡大 ■ 地域の魅力を高める ■ ビジネスチャンスを高める

取組の課題・留意点等
<ul style="list-style-type: none"> ○再開発ビルの施設管理・運営方法など詳細の検討 ○民間投資による諫早駅周辺の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗等の現状分析 ・空き店舗情報データの一元管理



南北断面図

施策	諫早駅の「おもてなし空間」の整備
A-4	
自由通路及び再開発ビルに情報発信拠点を整備し、地域の様々な魅力を発信するとともに、新幹線で降り立つ方々へおもてなし空間を提供します。	

具体的取組	内容	実施主体	連携団体
①自由通路観光案内PRコーナーの充実	・自由通路に併設している観光案内PRコーナーの更なる充実を図る。(島原半島への玄関口として、半島の観光情報発信も含めた取組を進める。)	・諫早市 ・観光協会	・島原半島3市
②交流広場の整備 再開発ビルI棟2工区	・再開発ビルI棟2工区に交流広場を整備し、人々の集いの場を提供する。	・諫早市 ・観光協会	
③周辺飲食店情報等の適切な提供	・市民、観光客、ビジネス客、V・ファーレン長崎ホーム戦来訪者などの方々に、駅周辺の飲食店などをより利用していただくための取組を行う。 -取組例- ・駅周辺の飲食店を巡る「駅前バルウォーク」の拡充など、話題性のある取組を行い、外への発信を積極的に行う。 ・飲食店MAPの作成(昼食、夕食、おすすめメニュー)	・民間企業 ・駅前商店街 ・観光協会	・商工団体 ・諫早市

スケジュール	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 開業	開業後
①自由通路観光案内PRコーナーの充実	運営、改善				
②交流広場の整備 再開発ビルI棟2工区	再開発ビルI棟(交流広場を含む)建築工事		供用		
③周辺飲食店情報等の適切な提供	企画・検討		取組実施		

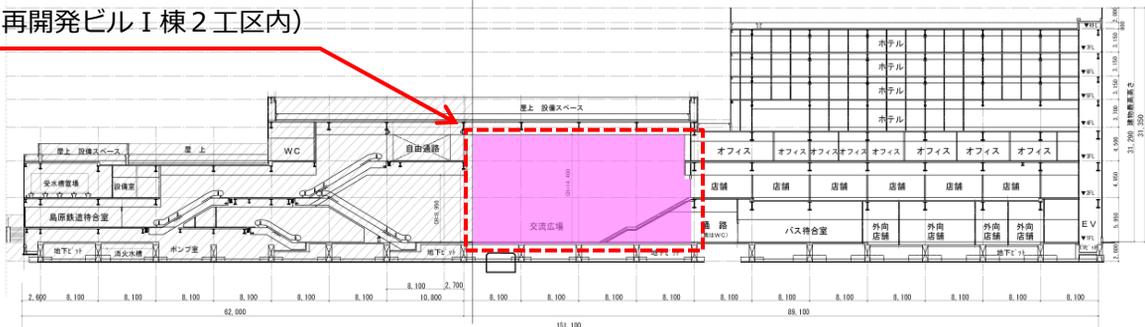
期待される効果

- 交流人口の拡大
- 滞在時間をより長く提供する
- 地域の魅力を高める
- 地域の知名度や存在感を向上させる

取組の課題・留意点等

- 情報発信拠点整備は、関係自治体と連携した運営方法や情報発信の仕組みについて協議・検討が必要
- 周辺飲食店情報の提供は、統一的なイメージづくり(基本コンセプトの設定)や、誰に発信していくか(マーケティングに基づくターゲット選定)など戦略的な取組が必要
- 中心市街地付近や、島原鉄道沿線(例:幸駅付近)などの飲食店情報も合わせて整理を行う。

交流広場(再開発ビルI棟2工区内)



南北断面図

施策	諫早駅周辺回遊促進のためのハード整備
A-5	～自然を活かした空間づくり～

諫早駅周辺には本明川を中心として眼鏡橋などの多くの歴史資源が点在しています。市民や市外から訪れた方々の回遊性を高めるために、駅前公園と本明川の一体整備などを行い魅力ある河川空間を演出します。

具体的取組	内容	実施主体	連携団体
①駅前公園整備による新たな親水空間の提供	・駅前公園と本明川の一体的整備を行い、市民や市外から訪れた人々を本明川へいざなうとともに河川空間の賑わい創出を図る。	・国土交通省 ・諫早市	・河川愛護団体
②本明川散策路整備による回遊促進	・散策路となる管理用通路及び管理用階段や、川へアクセスしやすい低水護岸などは、既に国土交通省により整備済みであるため、今後、案内表示板の整備など更なる利便性向上のための取組を行う。 -取組例- ・川原や飛石等に名称を付与し、現在位置の確認と親しみやすさの演出を図る。 ・管理用階段などへ案内表示を行うなど、本明川を起点とした周辺回遊を促す取組を行う。	・国土交通省	・河川愛護団体 ・利用者 ・諫早市

スケジュール	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 開業	開業後
① 駅前公園整備による新たな親水空間の提供	調査設計			整備工事	供用
② 本明川散策路整備による回遊促進	更なる利便性向上のための取組を実施				

- ### 期待される効果
- 交流人口の拡大
 - 滞在時間をより長く提供する
 - 地域の魅力を高める
 - 地域の知名度や存在感を向上させる

- ### 取組の課題・留意点等
- 利用者の視点に立った整備に努める。
 - 整備後施設の効果的な活用策の検討
 - ・ 河川敷地占用許可準則特例の活用（河川空間のオープン化）



本明川と河川散策路



駅前公園と本明川の一体整備イメージ（資料提供：国土交通省）

施策	交通利便性が高い諫早駅周辺への定住促進 ～居住空間の提供～
A-6	

県央地域の交通結節点である諫早市の地理的な優位性を活かした住環境を整備し、定住の促進を図ります。

具体的取組	内容	実施主体	連携団体
①再開発ビルⅡ棟 (マンション棟)の整備	・再開発ビル(Ⅱ棟)に、民間活力を導入し居住用床を整備する。 (再開発ビルⅡ棟:マンション、店舗、交番、駐車場)	・諫早市 ・特定建築者	
②民間投資の誘発	・民間投資を誘発するための取組を官民一体となって研究する。(関係者による研究会の設置など)	・諫早市 ・長崎県	・金融機関

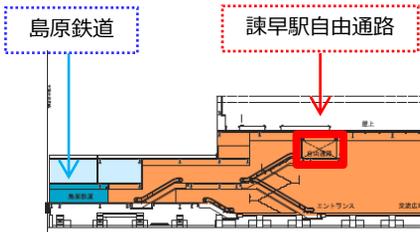
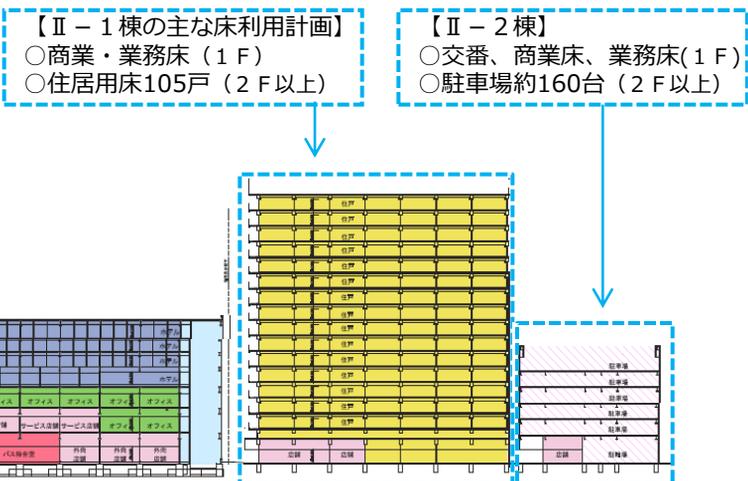
スケジュール	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 開業	開業後
①再開発ビルⅡ棟 (マンション棟)の整備	建築工事		入居		
②民間投資の誘発	調査・研究				

期待される効果

- 地域の魅力を高める
- 定住促進
- ビジネスチャンスを高める



再開発ビルⅡ棟 (マンション棟)



施策	諫早駅周辺の「観光コンテンツ」の磨き上げ
B-1	～短時間観光需要を消費につなげる～
<p>諫早駅周辺の既存観光コンテンツの磨き上げ・情報発信を行うとともに、ターゲットを絞ったガイド付きのまち歩きツアー（半日程度）などを試験的に実施し、諫早駅を拠点とした観光プランの充実を図ります。</p>	

具体的取組	内容	実施主体	連携団体		
①諫早駅周辺散策 旅行商品の開発	<ul style="list-style-type: none"> 諫早駅周辺には眼鏡橋をはじめ神社・仏閣など多数の歴史資源が点在しているため、食を含めた周遊プランを発信し短時間観光需要を消費に繋げる取組を行う。 <p>-取組例-</p> <ul style="list-style-type: none"> ガイド付きまち歩きツアーの試験的实施 旅番組の誘致（その土地を歩きながら、その土地ならではの食を楽しみ、歴史・文化を知る旅番組） 	<ul style="list-style-type: none"> 観光協会 商工団体 	<ul style="list-style-type: none"> 国土交通省 諫早市 大学 旅行会社 		
②レンタサイクル	<ul style="list-style-type: none"> 諫早駅前などにレンタサイクルを設置し周遊観光につなげる。（自転車は限られた時間の中で移動範囲を飛躍的に広げることができる道具） <p>-取組例-</p> <ul style="list-style-type: none"> 廃棄自転車の活用によるレンタサイクル設置 	<ul style="list-style-type: none"> 観光協会 	<ul style="list-style-type: none"> 国土交通省 長崎県 諫早市 		
スケジュール	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 開業	開業後
①諫早駅周辺散策 旅行商品の開発	検討	試験実施	本格実施		
			専門誌・販売店タイアップ		
②レンタサイクル	検討	試験実施	本格実施		

期待される効果
<ul style="list-style-type: none"> ■ 交流人口の拡大 ■ 滞在時間をより長く提供する ■ 地域の魅力を高める

取組の課題・留意点等
<ul style="list-style-type: none"> ○ガイド付きまち歩きツアー （眼鏡橋周辺の資源を更に掘り起こして磨く） <ul style="list-style-type: none"> ・用水路ツアー、ナイトツアーの検討 ・御館山散策（頂上からは大村湾と有明海の2つの海が見える） ・本明町付近の城跡めぐり（本明には3つの城があった） ・焼き鳥食べ歩き、うなぎ食べ比べ などグルメ編 ・JRウォーキングとの連携 ・課題：トイレの確保（商店街等の協力が必要）

施策	多良山系、本明川、干拓地を活かした体験型旅行商品の創出
B-2	～諫早の自然に感動する旅の創出～

多良山系や母なる川「本明川」、干拓地など諫早市が誇る自然を最大限活かした体験型商品を開発し、ターゲットを絞ったプロモーション活動を実施し誘客を図ります。

具体的取組	内容	実施主体	連携団体
① 諫早の自然を体感する体験型商品（コト消費）の開発	<ul style="list-style-type: none"> ・諫早市の豊かな自然を活用し、体験型・滞在型観光商品の充実を図る。（実施にあたっては体験型プログラムのノウハウを持った、国立青少年自然の家や、こどもの城との連携を図る。） -取組例- ・キャンプ、山歩き、沢歩きなどのアウトドア活動 ・パワースポット巡り（神社、仏閣、大木等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光協会 ・民間事業者 	<ul style="list-style-type: none"> ・諫早市 ・国立青少年自然の家
② 本明川に親しむ体験型商品（コト消費）の開発	<ul style="list-style-type: none"> ・本明川を活かした様々な体験型商品を開発する。 -取組例- ・上流：水源探索ツアー（市街地から近い） ・街中：自然・文化・食を堪能できるウォーキングプラン ・下流：川下り、大物淡水魚釣り、カヌー体験 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光協会 ・民間事業者 	<ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省 ・長崎県 ・諫早市
③ 歴史の道（多良海道等）を活かした観光振興	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史、文化、食、自然（季節）を堪能できるウォーキングプランの提供 -取組例- ・ウォーキングと合わせて、食の提供、絶景地での写真撮影など、複合的な価値を提供し集客を図る ・多良海道、長崎街道、島原街道の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光協会 ・民間事業者 	<ul style="list-style-type: none"> ・諫早市 ・太良町 ・JR九州

スケジュール	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 開業	開業後
① 諫早の自然を体感する体験型商品（コト消費）の開発	調査・研究・試験実施		専門誌・販売店タイアップ	本格実施	
② 本明川に親しむ体験型商品（コト消費）の開発	調査・研究・試験実施			本格実施	
③ 歴史の道（多良海道等）を活かした観光振興	試験実施		本格実施		

期待される効果
<ul style="list-style-type: none"> ■ 交流人口の拡大 ■ 滞在時間をより長く提供する ■ 地域の魅力を高める ■ 地域の知名度や存在感を向上させる

取組の課題・留意点等
<ul style="list-style-type: none"> ○ 専門紙、専門用品販売店などとのタイアップによる情報発信や誘客策の研究 ○ 体験メニューは、その内容にストーリー付けを行い、それに伴った家族向け、女性向けなど対象者の絞り込みが必要



本明川魚つかみ取り大会



つり大会



轟峡



オオキツネノカミソリ（多良岳）

施策	スポーツ資源を活かした交流人口拡大 ～スポーツのまち諫早～
B-3	

交通結節点という強みを最大限活かし、大会や合宿誘致を進め「スポーツのまち諫早」の実現につなげます。

具体的取組	内容	実施主体	連携団体
①スポーツ大会・合宿誘致	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)久山港スポーツ施設(野球場2面等)は全国や九州規模での大会や各種スポーツイベントが開催できる規模であるため、スポーツツーリズムの推進を行う。 ・その他にも市内には多数のスポーツ施設が整備されており、交通の要衝としての地の利を最大限活かした各種大会・合宿誘致などを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・諫早市 ・観光協会 ・競技団体 	<ul style="list-style-type: none"> ・長崎県 ・県スポーツコミッション
②本明川水域の利活用によるスポーツ振興	<ul style="list-style-type: none"> ・本明川下流域はボート競技利用者から「直線4kmのコースで障害物がなく漕ぐことに集中できる」と良好な評価を受けているため、大会や合宿誘致などの活用促進や環境整備について、関係者間で協議を行い交流人口の拡大を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・競技団体 ・長崎県 ・諫早市 	<ul style="list-style-type: none"> ・河川管理者 ・県スポーツコミッション
③地形を活かしたサイクルツーリズム	<ul style="list-style-type: none"> ・県内でも有数の平野を持つ諫早市は、自転車走行に適した街であり、交通の要衝でもある。サイクリストが集うまちとしての地域確立を図る。 <p>-取組例-</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設や店舗等に自転車スタンドの設置を促し、サイクリスト(自転車愛好家)が訪れやすい環境整備を行う。 ・また、サイクリストが集う街をアピールするため、諫早の街を巡るサイクルイベントを開催する。 ・通行位置の路面表示 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設 ・民間事業者 ・観光協会 ・商工団体 ・競技団体 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路管理者 ・自転車メーカー

スケジュール	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 開業	開業後
①スポーツ大会・合宿誘致	大会誘致・合宿誘致				
②本明川水域の利活用によるスポーツ振興	研究・関係者協議・実施				
③地形を活かしたサイクルツーリズム	調査・研究・試験実施・本格実施				

期待される効果

- 交流人口の拡大
- 地域の魅力を高める
- 地域の知名度や存在感を向上させる



いさはやミニトライアスロンリレー



(仮称) 久山港スポーツ施設

施策	外国人旅行者の宿泊 & 市内周遊促進 ～西九州観光の拠点としての地位確立～
B-4	

訪日外国人客が増え続ける中、交通の要衝である諫早市における旅行消費額を増やす取組を行います。

具体的取組	内容	実施主体	連携団体
①外国人旅行者向け体験プランの創設	<ul style="list-style-type: none"> 日本のローカル(地方)を体験したいという需要を取り込むため、体験型商品を開発し発信する。 <p>-取組例-</p> <ul style="list-style-type: none"> 市の特産品（水稲、馬鈴薯、みかん、唐比れんこん等）の収穫体験プランの商品化 そば打ち体験、湯江紙漉き体験などの外国人対応及び情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 農協 農業者 旅行会社 	<ul style="list-style-type: none"> 諫早市 大学 国際交流センター
②外国人旅行者の県内観光の拠点化	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊地として選択してもらうための取組を進める。 <p>-取組例-</p> <ul style="list-style-type: none"> 駅周辺施設等の多言語対応化、スマートフォン決済アプリシステムの導入、Wi-Fi環境の整備 外国人に人気が高いゲストハウスの整備や、空き家のリノベーションなどによる民泊 大手海外民泊サイトへの登録による情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 民間事業者 宿泊施設 観光事業者 	<ul style="list-style-type: none"> 長崎県 諫早市
③留学生による母国への情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 長崎ウエスレヤン大学の留学生を対象に、職場体験や名所巡りなどを行ってもらい、SNS等を活用した母国等への諫早市の魅力発信を行う。 <p>-参考- (ウエスレヤン大学留学生国別TOP3)</p> <p>H20 ①ネパール：67名 H29 ①ネパール：62名 ②ベトナム：57名 ②中国：41名 ③インド：28名 ③ベトナム：40名</p>	<ul style="list-style-type: none"> 諫早市 	<ul style="list-style-type: none"> 大学 国際交流センター

スケジュール	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 開業	開業後
①外国人旅行者向け体験プランの創設	調査・研究・試験実施		本格実施		
②外国人旅行者の県内観光の拠点化	調査・研究・環境整備（多言語化）		民間投資による実施（民泊等）		
③留学生による母国への情報発信	大学との協議・調整		対象留学生選考・実施（1期・2期・3期）		
			情報発信		

期待される効果
<ul style="list-style-type: none"> ■ 交流人口の拡大 ■ 広域的な交通拠点性を高める ■ ビジネスチャンスを高める ■ 地域の知名度や存在感を向上させる

取組の課題・留意点等
<ul style="list-style-type: none"> ○ターゲットの選定（中国、韓国、台湾、欧米豪ほか） (例) 中国・台湾の場合 春節に合わせて開催される長崎ランタンフェスティバル来訪者の諫早市内への宿泊及び市内周遊を狙う、など ≪2020年ランタンフェスティバル開催予定≫ 2020年：1月25日（土）～2月8日（土） -参考-（長崎空港への国際定期便就航の状況） ・香港（人口約700万人）－長崎（香港エクスプレス：週3便） ・上海（人口約2,000万人）－長崎（中国東方航空：週2便） ・ソウル（人口約1,000万人）－長崎（エアソウル：週3便）

施策	周辺観光地との連携 ～島原半島、新幹線沿線市～
B-5	
<p>長崎県の中央に位置した交通の結節点という強みを活かして、周辺観光地（島原半島、新幹線沿線市：長崎市、大村市、嬉野市・武雄市）と連携した取組を行い、広域的な観光圏の形成を目指します。</p>	

具体的取組	内容	実施主体	連携団体
① 島原半島との連携	<ul style="list-style-type: none"> 諫早、島原半島の魅力を堪能できる旅行商品を開発する。 -取組例①- (島原半島温泉数珠つなぎツアー(仮称)) ・諫早駅発、バスと鉄道による島原半島周遊プラン ・唐比れんこん、ワタリガニ、小浜ちゃんぼんなど、周辺の土地の名産の収穫・試食体験や各地の温泉を巡る。 -取組例②- (島鉄観光列車+One) ・島原鉄道が運行を行っている「観光列車(しまてつスイーツ列車など)」との連携を図る。(食材の提供、周辺観光スポットとの連携等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・島原鉄道 ・旅行会社 ・観光協会 ・農協 ・漁協 ・飲食店 	<ul style="list-style-type: none"> ・諫早市 ・島原半島3市
② 新幹線沿線市との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線の開業により諫早-長崎間は約10分となり、また、これまで鉄道駅が無かった嬉野市までのアクセスも格段に向上するため、沿線市を周遊するプランを造成し、観光客誘致を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社 ・観光協会 ・JR九州 	<ul style="list-style-type: none"> ・諫早市 ・沿線4市 ・飲食店

スケジュール	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 開業	開業後
① 島原半島との連携	研究・協議・調整		旅行商品化	運用	
② 新幹線沿線市との連携	研究・協議・調整		旅行商品化	運用	

期待される効果

- 交流人口の拡大
- 広域的な交通拠点性を高める
- 地域の魅力を高める
- ビジネスチャンスを高める
- 地域の知名度や存在感を向上させる

取組の課題・留意点等

○先進地事例：【昇竜道(ドラゴンルート)】

- ・中部・北陸地方を南北に縦断するインパウンド広域観光ルート
- ・5日～9日間の滞在を目安とした4つのモデルコースが設定
- ・6つのテーマから観光施設が検索可能(①食、②ショッピング、③景観、④アクティビティ、⑤エンターテインメント、⑥生活・文化)
- ・東京から大阪までの「ゴールデンルート」で日本の魅力を楽しんだ訪日外国人が、よりディープな日本を体験しようと2回目の訪日の際に選ぶ傾向がある。



車窓からの流れる景色を眺めながら

「ほっほや茶屋」さんの「茶っ葉グリーンカレー」と、「ネオクラシック クローバー」さんの「雲仙じゃがもんぶらん」を召し上がり。

「日本一海に近い駅」おのみさき 大三東駅 で幸せ折願

「幸せの黄色いハンカチ」に願いや大切な人へのメッセージなどを書いてみんなで幸せ折願を行います。

そして、島原を楽しむ

島原駅到着後は島原観光を楽しみましょう。
島原城天守閣と四明荘へ入場できる特典付き!

島鉄観光列車 (Café Train) 画像提供：島原鉄道

施策	既存食コンテンツの磨き上げ ～今ある食に新たな価値を上乘せする～
C-1	

諫早市の銘菓や伝統料理に新たな視点でストーリーを付加し、食の魅力を更に高め消費の拡大を図ります。

具体的取組	内 容	実施主体	連携団体
① 諫早の銘菓や 伝統料理の魅力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・今ある食の価値を更に向上させるため、新たな視点を取り入れた商品開発、PRを行う。 -取組例①-（諫早銘菓[おこし]の新たなPR作戦） <ul style="list-style-type: none"> ・おこしの「堅さ」を活かし、「合格は堅い！」というコンセプトで近隣神社と商品開発を行うなどし、受験生及びその家族を対象にPR・販売を行う。 ・おこしの「身を興す」という縁起の良さを活かし、ビジネス客の職場土産としてPR・販売を行う。 -取組例②-（スタミナフードのPR（ウナギ、スッポン）） <ul style="list-style-type: none"> ・スタミナフードとして認知されている、ウナギ、スッポンなどを、スポーツ選手に対してPRする。 ・トップアスリートや栄養士などと連携したコラボ商品の研究・開発を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・菓子店 ・飲食店 ・栄養士 ・宿泊施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光協会 ・スポーツ選手 ・大学 ・商工団体 ・神社

スケジュール	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 開業	開業後
① 諫早の銘菓や 伝統料理の魅力向上	調査・研究・試験実施		商品化	販売	

期待される効果
<ul style="list-style-type: none"> ■ 交流人口の拡大 ■ 地域の魅力を高める ■ ビジネスチャンスを高める ■ 地域の知名度や存在感を向上させる

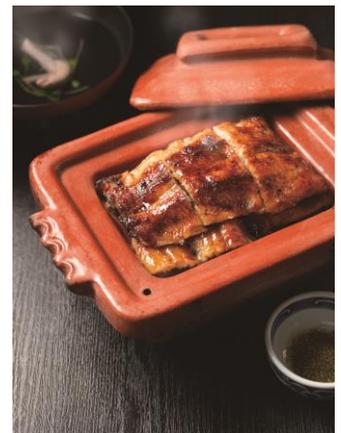
取組の課題・留意点等
○商品開発は、それ自体をイベント化するなど、話題性を狙う 例：高校生等を対象とした新商品開発コンテスト(おこし甲子園in諫早)



小長井牡蠣



諫早銘菓「おこし」



いさはや楽焼(らくやき)うなぎ

施策	新たな食コンテンツの創出 ～新しい商品を生み出す～
C-2	

全国的に認知度が高い「フルーツバス停」とコラボしたスイーツ商品の開発や、諫早らしさを最大限に活かした商品を開発し、ターゲットを絞ったプロモーション活動により誘客を図ります。

具体的取組	内容	実施主体	連携団体
①フルーツバス停とコラボした新スイーツの開発	<ul style="list-style-type: none"> ・インスタグラムなどでも人気のフルーツバス停の強みを活かした「食」を開発する。 -取組例①-（フルーツバス停スイーツの開発） ・認知度が高い、フルーツバス停（いちご、すいか、みかん、メロン、トマト）とコラボしたスイーツ商品の開発（商品例） ①フルーツバス停パフェ、ジェラート等 ②お菓子のパッケージをフルーツバス停Ver.で作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会 ・菓子店 ・生産者 ・飲食店 	<ul style="list-style-type: none"> ・商工団体 ・観光協会 ・諫早市 ・高校、大学
②諫早の特色を活かした新たな土産品の開発	<ul style="list-style-type: none"> ・諫早らしさを最大限に活かした商品づくり -取組例①-（「新しいさはや駅弁」づくり） ・オリジナル駅弁の開発（地元の料理店等が看板メニューを持ち寄り、バイキング形式で詰め放題によるオリジナル駅弁を提供する等） -取組例②-（地域特産物を利用した新たな土産品の開発） ・市内の特産物である「伊木力みかん」や「ばれいしょ」、「にんじん」等を活用した土産品の開発 	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会 ・生産者 ・飲食店 	<ul style="list-style-type: none"> ・商工団体 ・観光協会 ・諫早市 ・JR ・高校、大学

スケジュール	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 開業	開業後
①フルーツバス停とコラボした新スイーツの開発	実行委員会立ち上げ・試験実施		商品化・販売作業		
②諫早の特色を活かした新たな土産品の開発	実行委員会立ち上げ・試験実施		商品化・販売作業		

期待される効果
<ul style="list-style-type: none"> ■ 交流人口の拡大 ■ 地域の魅力を高める ■ ビジネスチャンスを高める

取組の課題・留意点等
<ul style="list-style-type: none"> ○他の商品との差別化を図るために、専門家の意見を取り入れる。（アドバイザー制度等の活用） ○商品開発にあたっては、誰に発信していくか（マーケティングに基づくターゲット選定）を踏まえた戦略的な取組が必要



画像提供：諫早市職員

施策	既存産業を活かしたコト消費の創出 ～体験のまち「いさはや」を目指す～
C-3	

諫早市の産業を「モノ」という視点だけでなく、「コト（体験）」という視点を付加し、そこにかかわる「ヒト」にもスポットをあて、物語性のある商品化を図ります。

具体的取組	内容			実施主体	連携団体
①酒蔵ツーリズム	・米どころである諫早の強みと、日本酒とをコラボさせた体験型商品の開発 -取組例- ・田植え体験→収穫体験→酒造り体験→新酒(12月)の一連を体験として商品化する。 ・「お猪口」や「ぐい呑み」づくり体験をセットにする			・観光協会 ・酒造会社 ・交通事業者 ・旅行会社	・諫早市
②季節に合わせた農業（収穫）体験	・豊富な諫早の農産物を活かした体験型商品の開発 -取組例- ・春（馬鈴薯、アスパラ、玉ねぎ）、秋（米、みかん）、冬（人参、キャベツ）の季節毎の農産物収穫体験と合わせて、料理・試食体験もできる体験型旅行商品の提供			・農協 ・農業者 ・交通事業者 ・旅行会社	・観光協会 ・諫早市
③オイスターツーリズム	・小長井牡蠣焼き体験を核とした周辺観光プランの提供 -取組例- ・牡蠣焼き+フルーツバス停を堪能できるバスプラン ・牡蠣焼き+日本酒を堪能できるバスプラン ・牡蠣焼き+そば打ち体験、湯江紙漉き体験等			・漁協 ・交通事業者	・観光協会 ・諫早市
スケジュール	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 開業	開業後
①酒蔵ツーリズム	検討	試験実施	本格実施		
②季節に合わせた農業（収穫）体験	検討	試験実施	本格実施		
③オイスターツーリズム	検討	試験実施	本格実施		

期待される効果
<ul style="list-style-type: none"> ■ 交流人口の拡大 ■ 滞在時間をより長く提供する ■ 地域の魅力を高める ■ ビジネスチャンスを高める ■ 地域の知名度や存在感を向上させる

取組の課題・留意点等
<ul style="list-style-type: none"> ○酒蔵ツーリズム <ul style="list-style-type: none"> ・先例として「波佐見町」「鹿島市」の事例を研究



ミカン畑



牡蠣焼きの風景



フルーツバス停

施策	漁業資源を活かしたコト消費の創出 ～三海（橘湾、大村湾、諫早湾）の幸～
C-4	

国内でも珍しい、三つの個性ある海の恵みを「モノ」という視点だけでなく、「コト（体験）」という視点を付加し、そこにかかわる「ヒト」にもスポットをあて、物語性のある商品化を図ります。

具体的取組	内容	実施主体	連携団体
①三海体験ツアー	<ul style="list-style-type: none"> 三海の特徴を活かした体験型ツアーの開発 -取組例- 三海の実体験ツアー 橘湾：巻網などの漁船漁業体験、ペーロン体験 大村湾：カヌーを使った海辺の探索、ペーロン体験 諫早湾：潮干狩り、シャコ獲り、ビッシ捕り体験 	<ul style="list-style-type: none"> 漁協（漁業者、女性部） 観光協会 交通事業者 旅行者 	<ul style="list-style-type: none"> 諫早市 長崎県 干拓の里
②三海の情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 三海の幸の情報発信 -取組例- 三海海鮮まつりの拡充 駅構内での水産物・加工品の実演販売（下処理済みの鮮魚やカキ焼き、出来立て加工品の販売） （三海の幸が入った生簀設置や大漁旗の設置によるPR） 宿泊・飲食店と連携し、季節ごとの三海の幸を提供 新幹線沿線の大消費地（大阪、福岡）での販促、PR活動 	<ul style="list-style-type: none"> 漁協（漁業者、女性部） 観光協会 	<ul style="list-style-type: none"> 諫早市 長崎県 宿泊施設 飲食店

スケジュール	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 開業	開業後
①三海体験ツアー	研究・協議・調整・商品づくり		販売・PR		
②三海の情報発信	研究・協議・調整・商品づくり		販売・PR		

- ### 期待される効果
- 交流人口の拡大
 - 滞在時間をより長く提供する
 - 地域の魅力を高める
 - ビジネスチャンスを高める
 - 地域の知名度や存在感を向上させる

- ### 取組の課題・留意点等
- 体験ツアー
 - ・体験、食事、宿泊などをセットにした取組を検討する
 - ・日本人旅行者のみならず、外国人旅行者も視野に入れた取組を検討する



ビッシ（ホタルイカ的一种）捕り



潮干狩りの風景

施策	企業活動の活性化 ～チャンスを活かしたビジネスの活性化
C-5	
市内に新たな事業所の起業・出店を促し、産業の活性化につなげます。	

具体的取組	内容	実施主体	連携団体
①ビジネスプランコンテストの実施	・新幹線開業を活かしたビジネスプランコンテストの実施など、開業をきっかけとしたサービス業等の分野における創業・起業意欲の誘発を図る。	・長崎県	・諫早市 ・金融機関 ・商工団体
②企業間マッチング商談会の開催	・長崎県が実施する「企業間マッチング商談会」（県外企業と、県内企業の商談会）の開催	・長崎県 ・民間事業者	・諫早市 ・商工団体

スケジュール	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 開業	開業後
①ビジネスプランコンテストの実施	企画検討	実施			
②企業間マッチング商談会の開催	企画検討	実施			

- 期待される効果**
- 地域の魅力を高める
 - ビジネスチャンスを高める



参考：八戸屋台村みろく横丁（青森県八戸市）（HPより抜粋）

施策	外への情報発信（PR体制の構築） ～多くの人に知ってもらおう～
D-1	
地域全体で歓迎ムードを高め、様々なアイテムを活用し、市内外へ諫早市の魅力とともに新幹線開業をアピールします。	

具体的取組	内 容	実施主体	連携団体		
① PR用キャッチコピー・ロゴマーク作成、活用	・県とともに、開業に向けたキャッチコピー及びロゴマークを作成し、内外へPRする。（広報ツールでの発信や、企業による利用やお土産品等への活用等）	・長崎県	・諫早市 ・商工団体 ・観光協会 ・市民		
② 人材ネットワークを活かした開業PR	・諫早に縁のある著名人や、東京諫早会など県外在住者、団体等のネットワークを活かした開業PRを実施する。 ・国内友好交流都市（岡山県津山市、島根県出雲市）と連携した開業PRを実施する。 ・海外友好・姉妹都市への情報発信を行う。 ○友好都市：中国福建省漳州市 中国江蘇省蘇州市平江区（現姑蘇区） ○姉妹都市：アメリカテネシー州アセンズ市	・諫早市 ・各団体 ・企業、市民	・岡山県津山市 ・島根県出雲市		
③ 多様な媒体を活用した県外PR	・テレビ番組や、CM、雑誌、新聞等による県外向けPRを開業前後に集中実施する。また、ソーシャルメディア（インスタグラム等）を活用した発信策を検討する。	・諫早市 ・長崎県 ・観光協会	・メディア ・島原半島3市		
スケジュール	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 開業	開業後
① PR用キャッチコピー・ロゴマーク作成、活用	一般公募	審査・決定	活用		
② 人材ネットワークを活かした開業PR	検討・人材抽出・交渉・PR活動				
③ 多様な媒体を活用した県外PR	検討・計画		PR展開		

期待される効果

- 地域の魅力を高める
- 地域の知名度や存在感を向上させる
- 地域内の開業機運の高まり

施策	開業イベントと諫早駅内の賑わい創出 ～盛り上がる・駅で楽しむ～
D-2	

イベント展開により地域全体で新幹線開業の歓迎ムードを高めるとともに、交通事業者等と連携したキャンペーンにより全国的な魅力発信と集客につなげます。

具体的取組	内容	実施主体	連携団体
①新幹線開業イベント(県下Ver.)	<ul style="list-style-type: none"> 県やJR等と連携した開業イベントを実施する。 -取組例- ・カウントダウンイベント(1年前、100日前) ・開業当日記念イベント等 	<ul style="list-style-type: none"> ・長崎県 ・諫早市 ・JR九州 ・実行委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線沿線市 ・商工団体 ・観光協会 ・メディア ・島原鉄道 ・市民
②新幹線開業イベント(諫早市Ver.)	<ul style="list-style-type: none"> ・諫早市独自の開業イベントを実施するため、実行委員会等を立ち上げ、その内容について検討する。 -取組例- ・新幹線開業動画の制作、開業イルミネーション等 ・島原半島と連携した開業イベントの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・諫早市 ・JR九州 ・実行委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光協会 ・メディア ・島原鉄道 ・市民 ・島原半島3市
③再開発ビル内交流広場のイベント活用	<ul style="list-style-type: none"> ・諫早駅再開発ビル内「交流広場」において、定期的なイベントを開催し、にぎわいを創出するとともに、諫早市の魅力を内外に発信する。 -取組例- ・定期的な「駅マルシェ」(野菜・加工品等販売)の開催 ・のんのご踊り、諫早グルメフェス、新そば祭り、V・ファーレン長崎ホームゲーム時のおもてなし ・島原半島を含めた物産展の開催等 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光協会 ・実行委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・諫早市 ・商工団体 ・メディア ・市民

スケジュール	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 開業	開業後
①新幹線開業イベント(県下Ver.)	協議・検討・実施体制づくり		実施		
②新幹線開業イベント(諫早市Ver.)	協議・検討・実施体制づくり		実施		
③再開発ビル内交流広場のイベント活用	協議・検討・実施体制づくり		実施		

期待される効果

- 交流人口の拡大
- 地域の魅力を高める
- 地域の知名度や存在感を向上させる
- 地域内の開業機運の高まり



のんのご街踊り

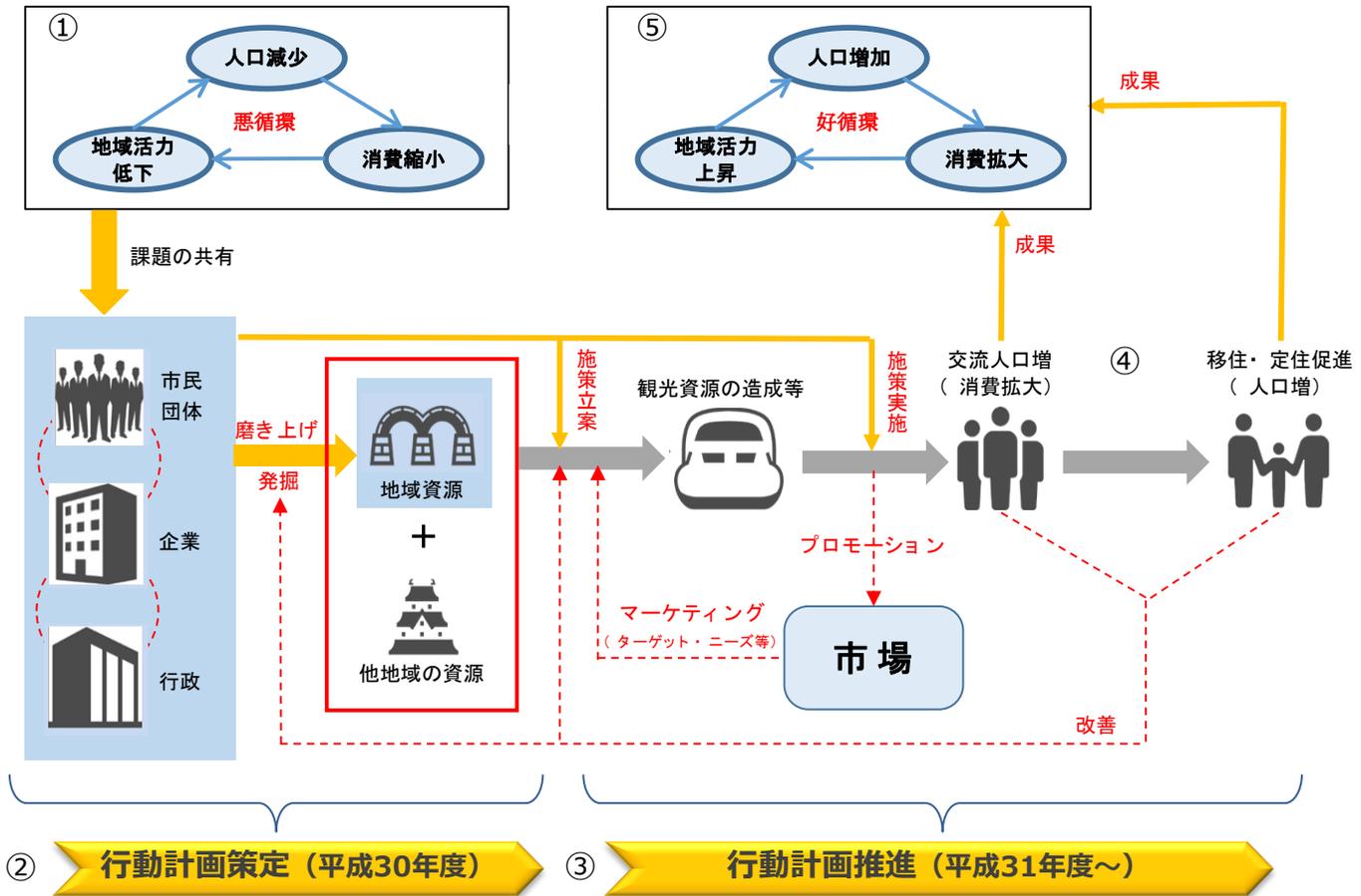


ノウフクマルシェ

（2）推進体制

新幹線開業効果を引き出すには、市民・団体、企業・行政が密接に連携・協力しながら本行動計画に記載する施策に取り組んでいく必要があります。

そのため、関係者間の連絡調整を行い、情報を共有していく体制を構築します。



◎ 連携推進会議（仮称）の設置

- ・設置目的：関係者間の情報共有の場を設けることにより、各団体の取組がつながり、より魅力ある取組へと化学反応を起こすことを目指す
- ・設置時期：平成31年度～
- ・構成団体：行政、商工、観光、交通事業者、スポーツ団体、企業等

市民団体 まちづくりとおもてなしで地域に活力と賑わいを創り出す

企業 開業後に経済効果を楽しむことができるよう、開業に向けた準備

行政 開業に向けた施設等の整備、関係者間の連絡調整、他自治体等との連携

參考資料

新幹線開業を活かした諫早市魅力創出行動計画策定会議設置要綱

(設置)

第1条 九州新幹線西九州ルートの開業に向け、市民、企業、団体、行政等関係者の役割及び具体的な取組内容を明らかにする行動計画を策定するため、新幹線開業を活かした諫早市魅力創出行動計画策定会議（以下「策定会議」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 策定会議は、新幹線開業を活かした諫早市魅力創出行動計画の策定に関する事務を所掌する。

(組織)

第3条 策定会議は、市長を含む委員30人以内で組織する。

2 市長以外の委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 各種団体に属する者
- (3) 行政機関の職員
- (4) 前各号に掲げる者のほか、市長が適当と認める者

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から平成31年3月31日までとする。

(会長)

第5条 策定会議に、会長を置く。

2 会長は、市長とし、策定会議の事務を総括する。

3 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめその指名する委員が、その職務を代理する。

(会議)

第6条 策定会議は、会長が招集し、その議長となる。

2 策定会議は、委員の半数以上が出席しなければこれを開くことができない。

(意見の聴取等)

第7条 策定会議は、必要があると認めるときは、策定会議の会議に委員以外の者の出席を求め、意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(検討部会)

第8条 策定会議の所掌事務を円滑に推進するため、策定会議に検討部会を置く。

2 検討部会は、策定会議の所掌事務の具体的項目に関し、検討及び協議を行う。

3 検討部会は、部会長及び部会員をもって組織する。

4 部会長は、検討部会に属する委員の互選によってこれを定め、検討部会の事務を総括する。

5 部会員は、第3条第2項の委員又は部会長から推薦された者から会長が指名する者をもって充てる。

6 検討部会の会議は、部会長が必要に応じて招集し、その議長となる。

(準用)

第9条 第7条の規定は、検討部会について準用する。

(庶務)

第10条 策定会議の庶務は、政策振興部において処理する。

(その他)

第11条 この要綱に定めるもののほか、策定会議の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

附 則

この要綱は、平成30年5月15日から施行する。

■ 策定会議委員（要綱第3条）

（敬称略、団体名・役職は委員就任時）

団体名	職名	氏名	備考
諫早市	市長	宮本 明雄	会長
諫早商工会議所	会頭	黒田 隆雄	
一般社団法人諫早青年会議所	理事長	片山 量海	
諫早市商工会	会長	中嶋 一也	
一般社団法人諫早観光物産コンベンション協会	会長	酒井 明仁	
諫早市旅館ホテル業組合	組合長	草野 寿明	
長崎県農協農業協同組合	代表理事組合長	辻田 勇次	
橘湾中央漁業協同組合	代表理事組合長	濱 正夫	
九州旅客鉄道株式会社	執行役員長崎支社長	西川 佳祐	
島原鉄道株式会社	代表取締役社長	永井 和久	
長崎県交通局	局長	太田 彰幸	
諫早市タクシー協会	会長	永尾 典嗣	
諫早銀行協会	会長	塚元 哲也	
長崎ウエスレヤン大学	学長	佐藤 快信	
長崎総合科学大学	工学部教授	田中 俊彦	
諫早市自治会連合会	会長	古賀 文朗	
諫早市連合婦人会	会長	大久保 てるひ	
株式会社エフエム諫早	代表取締役	高尾 茂	
諫早ケーブルメディア株式会社	代表取締役社長	南 浩一郎	
国土交通省長崎河川国道事務所諫早出張所	所長	山村 健志	
長崎県県央振興局	局長	嶋田 孝弘	



【イラスト】

平成30年度「諫早市 新幹線とまちづくり絵のコンクール」最優秀作品

平成31年 3月発行

新幹線開業を活かした諫早市魅力創出行動計画策定会議

(策定会議事務局)

〒854-8601 長崎県諫早市東小路町 7番 1号

諫早市政策振興部企画政策課 (TEL : 0957-22-1500)